



Fiveleafsclover

6

Architecture Product System



目次

最新更新情報 年の後半

2023.12.29	今年最後の更新ですが 新年をまたいで更新されるので	3
------------	-------------------------------------	---

更新情報の履歴

2023.12.25	クリスマスの	7
2023.12.22	サイゾーやゲーラボの発売時期	8
2023.12.15	謝罪	9
2023.12.8	濡れ衣だったと認める	10
2023.12.1	プレステの発売日	11
2023.11.23	ギャルビッシュは大映ドラマの住人	12
2023.11.16-17	さらに予備日の一つ足す	13
2023.11.10	「亜美ちゃんの長袖」	14
2023.11.3	文化大革命の日 ではない	15
2023.10.27-28	「よかったあ。番組に出て休載だったら、何言われるかわからないから」	16
2023.10.20	もっと♪ もっと♪ ハリモット♪	17
2023.10.13	今回はジェイソンをネタにしない	18
2023.10.6-7	祝廃業	19
2023.9.29	「あそびの研究は泥沼」ならば「ゲームの探求は深海探査」である	20
2023.9.22	バーナムが正解だった	21
2023.9.15	優勝（アレ）	22
2023.9.8	深夜にラグビーのワールドカップが開幕	23
2023.9.1	関東大震災のあった日	24
2023.8.25	立浪監督解任も目前	25
2023.8.18	マジック点灯	26
2023.8.11	フェーン現象で猛暑到来につき	27
2023.8.4	アンサンブルコンテストの封切り日だけど暑いので更新情報の開示はおざなり	28
2023.7.28	緊急事態（脳内にJアラートの音を響かせて下さい）みたいに更新する	29
2023.7.21	阪神タイガースのスタメン = オールスターチーム	30
2023.7.14	もうムビチケを買ってある	31

2023.7.7 木曜から土曜まで余裕を持たせた	32
「こんな読み物は暇な人が読んでくれます」	
キミはあの映画を観たか？	35
宣伝し広告し、やっと思える。	
.....	43
日記だが完成したらダイアリー 2023 に収録 その二	
あり思制作日誌その二十二	57
雨天 “結構” 7.10	65
8.d アンサンブルコンテスト観てきた 8.d	67
人間に備わっているのは第五感まで 9.6	69
周回遅れのニューストピック 10.1	72
薬屋が独り占め 11.1	74
「はえ～もんだ もうプレステ発売から三十年か」十一月末日	77
コマーシャルメッセージ（eBOOKPromotion）	
.....	81
工事中につき その内できるが できない時もたまにある	
芝居をしろ！	89
ブックと戯曲のガイド	94
オレならこう撮る 『「坊ちゃん」の時代』ならコウ撮る？	101
ポジティブ・カウンター・インテリコクチ（告知）	
.....	107

最新更新情報 年の後半

2023.12.29 今年最後の更新ですが 新年をまたいで更新されるので

「別冊ヤングライオン」

「ヤングライオン 13」

「レイズアサイドブック 6」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

を更新。

更新情報の履歴

2023.12.25 クリスマスの

クリスマスプレゼントと言えば、『沈黙の艦隊』の大統領からのクリスマスプレゼントである。

いろいろと、告知をした。

こんなメリークリスマスでいいのだろうか？

2023.12.22 サイゾーやゲーラボの発売時期

『BECK』の全校集会での校長先生の「だから木戸修はカール・ゴッチから私の息子と呼ばれたのです」が木戸さんとの出会い。

その頃から今でも、プロレス知識が100段階で、2、3ぐらいしかあがってない。

プチ鹿島さんが、オヤジジャーナル好きで週刊誌を読むように、

おなじく、サイゾーとゲームラボのジャーナル

情報源としている

イラスト

「別冊ヤングライオン」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

を更新。

2023.12.15 謝罪

ニュース二十三さんじゃなくて、新聞番組ラテ欄に、びーえすの方でUFCのことが放送されるとあって、鹿島さんが出演すると事前にわかっていたのに、違う番組を録画予約した。

「ごめんなさい。チヒロは悪い子です」

ちゃんと謝罪した。

『アス○カケル』の一卷、まだ買ってないけど、

「ヤングライオン 13」

「別冊ヤングライオン」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

を更新。

2023.12.8 濡れ衣だったと認める

謝罪から入ると、うっかりマガジンとサンデーを間違えてしまった。

『ワンダースリー』ことW3は、マガジンに連載で、ちょっと盗作問題が発生し、それでサンデーに連載が移ったと。

モヤモヤの正体がわかった。

だけど、あの服の柄は改蔵が来ている服じゃないと、公式に認めてほしい。「脱法有吉」だと、その件に触れると、カラーバーが出る。

「別冊ヤングライオン」をアップ。

「ヤングライオン 13」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「レイズアサイドブック 6」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

を更新。

2023.12.1 プレステの発売日

三浦按針、村雨くんがやっている。大河のキャストینگ読まれてる？

kindleで第五回、「いつもの鬱エンドです」
あり思をずっと読んできたら、

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

「レイズアサイドブック 6」

「ヤングライオン 13」

2023.11.23 ギャルビッシュは大映ドラマの住人

木曜日の祝日に、少な目。

本当は今日.....

2023.11.16-17 さらに予備日の一つ足す

貼り付ける画像の量が多いので、前日、木曜日から少しずつ更新している。

「プロモーションブック 青ノ七號」の更新情報記録で、何をしたか、後で継ぎ足して書く。

2023.11.10 「亜美ちゃんの長袖」

ヤングらいおんシリーズは、

「ヤングライオントゥエルブ」

「ヤングライオン 13」

を更新。他は、

「レイズアサイドブック 6」

「プロモーションブック 青ノ七號

「プロモーションブック 七山市号」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

2023.11.3 文化大革命の日 ではない

「ヤングライオン 13」が、アップされていたり。

「ヤングライオン 11.111111111」

「レイズアサイドブック 6」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

2023.10.27-28 「よかったあ。番組に出て休載だったら、何
言われるかわからないから」

「レイズアサイドブック6」だけ、画像を足しているはず。

「ヤングライオントゥエルブ」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

なんか最近は、よくなって、少なく目。

眼が衰えてきたのか、暗くなるとキーの打ちミスが左右じゃなくて、上下や斜めのキー
をミスする、老いるショックだ。

一日中、眠くて、翌日にテキストを

2023.10.20 もっと♪ もっと♪ ハリモット♪

「レイズアサイドブック6」

「ヤングライオントゥエルブ」

「プロモーションブック 七山市号」

「プロモーションブック 青ノ七號」

を「電話してちょうだい♪」じゃなくて、更新。。

2023.10.13 今回はジェイソンをネタにしない

「プロモーションブック 七山市号」

「プロモーションブック 青ノ七號」

う〜ん。

更新した記事を書かないといけないかな？

「レイズアサイドブック6」

「ヤングライオントゥエルブ」

「ヤングライオン11.1」

先週の週刊文春を読みを忘れていて、「そういえば、町山さんがアーミッシュのところに行った続き、読み忘れていたな」と、思っていたところ、ポットキャストで大竹紳士交遊録できたろうさんが、週刊文春の連載の話をしていた。

スピってる。

2023.10.6-7 祝廃業

ジャニーズ事務所が一応は廃業すると、

子供に悪い事をしすると江戸所払いや遠島になるのは、江戸時代の頃からある。

これからはジャニオタには肩身の狭い思いをしてもらいたい。

次はナベツネじゃない？ 「次はお前だ！」

「プロモーションブック 七山市号」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

「ヤングライオントゥエルブ」

2023.9.29 「あそびの研究は泥沼」ならば「ゲームの探求は
深海探査」である

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」の

「日記 4.1 ラジオとポッドキャストの事ぐちぐち言わない 4.1」を直す。

この件でタツオレイシストが発生したのは、認めるけれど、玉鷲の件は認めない。(タツオレイ sushi トと誤字を書いていたしまった)

「レイズアサイドブック 6」

「ヤングライオントゥエルブ」

「プロモーションブック 青ノ七號」

を更新。ダジャレで「ヤングライオントゥ エルフ」を作るかもしれない。

「レイズ・ア・サイドブック 5」を完成させる。

「Fiveleafsclover5」はまだ完成していない。

2023.9.22 バーナムが正解だった

玉鷲みたいに調子が悪くて、あまり更新をしない事に。
あれじゃ、デスブログだよ。

それで、一番の問題は、ナーバムだと思っていたら、バーナムだったという英文全集
のスペルを読んで確かめた。

これは痛い。
ふて寝して休もう。

2023.9.15 優勝（アレ）

「プロモーションブック 七山市号」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヤングライオントゥエルブ」

「レイズアサイドブック6」と、偶数号は中点を取っている。

2023.9.8 深夜にラグビーのワールドカップが開幕

なにか、入れ忘れていた気もしないではないが、とりあえず。

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

「ヤングライオントゥエルブ」

「レイズ・ア・サイドブック 5」

を更新し、新しい広告も、ある。

2023.9.1 関東大震災のあった日

今日は、プロ野球の優勝ラインを調べる日。

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヤングライオントゥエルブ」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

「シン・ゲームレビュー 見つからない弾丸は逆行弾となる『ドラゴンクエストV』」
を更新している。はず。

2023.8.25 立浪監督解任も目前

ドラクエのやつ、早くやっつけたい。
そろそろやっつけたい。
やっつけ仕事ではなく「ドラクエを倒した」をしたい。
表紙画のフォーマットも作っていないし、

「ヤングライオン 11.111111111」
「ヤングライオン 12」
「レイズ・ア・サイドブック 5」
「プロモーションブック 青ノ七號」
を更新しているはず。
詫び石など、無い。

2023.8.18 マジック点灯

佐々木鱗太郎君、一人だけバグウェルみたいな身体つきである。

あれ、『砂の栄冠』でも語られる炭水化物をたくさん食べる、いわゆる糖質ドーピングで、追跡調査をしてみると元球児たちは中年以降、生活習慣病になっている……

「プロモーションブック 青ノ七號」

「5clover5」

「ヤングライオン 12」

2023.8.11 フェーン現象で猛暑到来につき

「レイズ・ア・サイドブック5」に夏の思い出、カルピスを飲んだ画像が足されていないはず。

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

2023.8.4 アンサンブルコンテストの封切り日だけど暑いので更新情報の開示はおざなり

「ヤングライオントゥエルブ」を八月四日にアップできたはずである。『響け！ ユーフォニアム アンサンブルコンテスト』が封切りされた日で、覚えやすい。手違いで、キャプションが無い状態であった、と思う。

後は「プロモーションブック 青ノ七號」に事後報告的に、あるはず。

2023.7.28 緊急事態（脳内にJアラートの音を響かせて下さい）みたいに更新する

今までテキストに
暑いので、八月いっぱいまで、定期性の無い更新で、
更新内容も少なく、

「ヤングライオン 12」を予定していたのに、間に合わなかった。

2023.7.21 阪神タイガースのスタメン ≡ オールスター
チーム

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

「ヤングライオン 11.111111111」

「プロモーションブック 炎之六号」

「プロモーションブック 青ノ七號」

2023.7.14 もうムビチケを買ってある

「Fiveleafsclover5」のWBCの件を更新。

「ヤングライオン 11.111111111」

「プロモーションブック 七山市号」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「レイズ・ア・サイドブック 5」は一枚だけ足した。他は告知も広告も足していない。

2023.7.7 木曜から土曜まで余裕を持たせた

「Fiveleafsclover6」をアップするのだが、その準備を怠り、いろいろ数日に渡って、集中せずにだらだらと、更新していく。お相撲中継の親方なら「稽古不足だね」と。

「プロモーションブック 七山市号」

「プロモーションブック 青ノ七號」

「ヘッジホッグダイアリーズ 2023」

「ヤングライオン 11.111111111」

「レイズ・ア・サイドブック 5」

「こんな読み物は暇な人が読んでくれます」

キミはあの映画を観たか？

現象に名前を付けるとすれば、

「なんでも全体主義になる」

と、いう事なのか？ 役者も名のある人物たちで、主題歌は「地球儀」のあの映画である。公式からストーリー中途までのあらすじは公開されたが、それでもストーリー展開がまったくわからない。

劇場公開前には宣伝戦略として、亡くなった高畑を宮崎が偲ぶ作品、と鈴木敏夫が広告展開させるというのが、予想されていた。(*1)

シナリオはそうはならず、ウソを付くわけにはいかなかったから、まったく広告展開、メディア露出（専門用語がある*2）をしないで、一回だけの飛び道具を出したと思われるが、「広告をしないという広告」「宣伝をしていないという宣伝」で、そんな事はギャグマンガでしかできない。

逆にプロモーションが難しい。「ポスターのこの鳥はなんですか？」と、監督に百回質問を投げかけられるのである。

『紅の豚』で「なんで主役がブタなんですか？」と百回聞かれたから、プロモーションがイヤになって、鈴木敏夫が代わって前に出るようになり、顔が売れたせいで映画の出来が悪ければプロデューサー責任になっていったと思われる。

正直、鈴木敏夫も百回質問されるのが、辟易してきたのか、そこはジョークを交えて否定するだろう、と思う。

ジブリを卒業した私は、今まで書いてきたモノ（「ディズニーへの不確かな返礼」）を読んでもらえばわかる。

つまり宮崎駿は手塚治虫と和解ができたか、私個人はそこにしか興味がない。ウォルト・ディズニーとは『ポニョ』で和解し、ジョン・ラセターにスープを渡せたと思う。

だから私はいつも通り、DVDで安く観れるか、テレビ放映が無いと観ないと思う。劇場まで足を運んで観ようとは思わないし、別件でシネコンに行っても、ついでに観ようとは思わなかった。

最近、岡田斗司夫の新書で、『風立ちぬ』は父・勝次氏を主人公・次郎だと擬える説を読んだ。だから、『風立ちぬ』は父との和解。航空機の部品工場を家族経営で切り盛りしていた人物が、何を考え、何をしようとしたのか、息子として父を理解しようと努めた作品という見立ては、岡田の悪徳（吝嗇）はあれど、一応留保しつつも、とりあえずは納得はできる。（勝次氏の人となりを文献で得るとカプローニの方が近いのではないか？）

私はモスキート号の親父機関工や湯屋の釜爺が宮崎父と思っていたが、どうも違うらしい。（ピッコロ親方も候補としてある）

具体的な内容、風の谷の図説はちゃんとイラストレーターに発注して清書してほしかったのは言うまでもなく、それはソフトバンク新書を読んでもらうとして、メディアを通して伝わる観客の感想には奇妙な一致があり、「新鮮だった」と口を揃えている。

それはサクラじゃないのか？ 協調、連帯、感想の共産主義？（*3）

広告のシャワーで見どころを公表して、観る前から観た気になる。劇場は答えあわせの場、というパターン化した映画興行の宣伝方法に、昔から反発があったのか、そのところを周知されていないので、わからない。

ネタバレしてほしくない層は一定層いる。

その声が大きくなったのがSNS時代である。

宇野常寛さんが『ダークナイト・ライジング』を楽しみにしていても、結局フェイスブックやツイッターで内容が「期待通りではない」とわかってしまうのである。一時的に楽しめなくなる。

実際に映画を観ると、先に知ってしまった感想と同じじゃないか、「答え合わせ」的な探りで観てしまう。

ロミジュリ問題。前口上で話の結末がわかっている。倫敦で演劇を見に来る観客はだいたい筋を知っていた。（イタリアから伝わる悲恋劇の再話だから）

これは歌舞伎も同じで種が割れていても、面白いのが定番作だ。名作の条件とっていい。じゃあ、何を観に行くのか、スターや千両役者を観に行く。

面白い筋であるのが保証され、尚且つスターが出ている映画を客は観に行く。

近年では珍しい、映画監督で映画を観るとして、宮崎は長命でまだ生き残っている人だ。

稲田豊史さんの『映画を早送りして観る人たち』で、あのエヴァンゲリオンですら、副音声映画を作らなければいけない時代に、「意味がわからない」と言われるそんな映画を作れるのは、宮崎駿が最後だと。

それはそれとして、なぜ広告展開しなかったのには、二つ候補がある。

MeToo 運動を経て、映画界は園子温や所英男.....じゃなくて榊英雄がいろいろと問題を起こしていた。

少なくとも大手動画配信には、# MeToo 運動が起きないように意識改革をする向きがあって、そのためにリスペクト講習をして、二度とジャニー喜多川みたいな事が起きないように、防止策を講じている。

やはり宮崎もそういうところがある。

ちょっと女性アニメーターと触れ合いが過ぎるのではないか、今なら（当時から）それは# MeToo なんじゃないのか、

WOWOW のドキュメンタリー番組や「夢と狂気の国」のようなメイキングを作成して

いない、と。

話を端折ると、

愛弟子のジョン・ラセターがディズニーの旧・ピクサーのチームから追われている。このあたりはあまり、口を挟むのは憚られているようだ。# MeToo 運動の一環でそうなった。

次に、考えられるのが、共産主義的なテーマに帰ってしまった、という恐れがある。

赤から緑へ、という変遷というか、そこは鈴木敏夫がうまかったと思われる。マーケティングで左翼思想的な、いわゆる「運動」を想起するものをテーマにせず、エコロジーな「緑」に緑化させる映画を作っていく方向性が功を奏した。

『ホルス』の反省、『ホルス』については氷川さんの『日本アニメの革新』に書かれている。払い下げられたフィルムを名作としてアニメファンの間で上映会で回し観されていたらしい。その製作者たちとして高畑宮崎は鈴木敏夫に注目された。（だから上映会文化は重要）

運動的なモノがあるから、アニメファンの外には向かない。

「アニメージュ」でのエコロジー展開が当時を知らない人には

C. W. ニコルの連載を載せたり、どうもいろんな事をやっていたらしい。

これが「赤から緑」という思想的変色と

そうして幾星霜、宮崎アニメはコミュニストの最後の砦になりつつある。

緑から、赤に戻ってしまったのが、懸念である。近年は韓国の宗教団体である統一協会と長らく選挙支援を受けていた安倍晋三を保守政党の希望のように語り、かなり左翼側を嫌った言動で、その流れに乗ったマスコミ、メディアが運動が無かった事で、馘首が起り、賃金が据え置かれたのが、ストライキが何十年ぶりという点がニュースになるのが近年の実情ではないのか、

誰もが、こんなに日本が貧乏になるとは、思わなかった。右傾の人たちには、思惑通り経済的徴兵を促す、「いい流れ」になっているという事だろう。

吉野源三郎の作品が、著作権上、どう処理されているか、不明（このあたりも宣伝をできないネックになっているかもしれない）であるが、岩波文庫版の解説で、『資本論』、その入門になっていると、丸山眞男が語っている。（『文庫解説ワンダーランド』）

コペルくんが自分が赤ちゃんの頃、粉ミルクを飲むと海外の人も含めて、いろいろな人の手が関わっている事、いわゆる人間分子の理論、これが『資本論』で語られている事で資本論入門と

（商品から生産者は阻害されている）

そして、二つの可能性を考えていたら、思い出した事で、もうひとつある。

そのキーとなるのは、ゲームソフトの『高機動幻想ガンパレード・マーチ』だ。記憶力が悪くなって、思い出すのに少し時間がかかった。

奇しくも、「一秒もプレイしていない」にとりあげるゲームソフトで、本当に今まで一秒もプレイした事が無い。

「ナイスゲームス」vol.6 の特集記事である程度、内容はわかっている。時短である。

中川大地さんの同人誌の記事が雑誌「CONTINUE」に載って、スタッフについてもわかる。

後は士魂号の元ネタである。

その士魂部隊の資料を手に入れる途中で、時間が経過して、ゲームレビューコンプレックス VOL.1 がぜんぜん売れないので、ペインティングしてしまった。

ともかくGPMについては、一秒もプレイしていなくても、ひとつ（角度のある独自）記事を書ける。書き終わったらGPMをプレイしてみよう、とも思っていた。（感想が変わるかもしれないし）

当のGPMは開発期間が長期に渡り、プールしていた宣伝費を開発費に回したと思われる。（群体A Iの転用に手を焼いたのだろうか？）

そのため、当時SCEの広報担当者である佐伯さんを名指しで批判される事になる。宮崎駿と同じく、「オタクが嫌いなんじゃないか」と、邪推すらされる。

つまり、「開発費が底をつき広告費をゼロにした」。

同じく、「制作費が底をつき広告費をゼロにした」というのが、つまらない真相ではないのか？ 広告宣伝費をかけたくても、かけられなかったのが、実態なのかもしれない。

そういえば、GPMの開発会社であるアルファシステム開発の『俺の屍を越えて行け』（*n）は、当時ゲームバブルだったのか、ちゃんと岸部一徳さんを起用して、「親父の遺言は『俺の屍を越えて行け』だってさ」と、印象づけるTVCMを流していた。

結果的に、制作期間が長期化してしまい、『ホルス』の二の舞になったと、たとえられるのか、鈴木敏夫の「一か月も一分もできなかった」期間がある*3とされる。

スタジオジブリは出来高払いではなく、雇用によるアニメーターへの給与支払いだから、制作が延びれば延びるほど、費用が嵩む。それでも月産5分で24ヶ月かけて一本の長編映画を作るのが、スタジオジブリの品質管理である。そのクオリティーコントロールがあったから、全世界で公開されるに足る、アニメ映画を作ってくれた。実際に支持を得た。

ビデオソフトが売れて、トトログッズも売れて、会社運営が成功していき、生産力が上がっても、長編映画制作のペースは変えなかった。

はずだが、一度制作部を解体した後に、またスタッフを募って、あの映画が制作された。

そして、映画が出来たのである。

岡田は『新世紀エヴァンゲリオン』を観る前に、内容を勝手に憶測している時が一番面白かった、と語っている。ガイナックスを離れて、自分が関わらない作品が一番のヒット作になってしまったが、そのあてつけもあろうが、同じように、劇場公開後、中身を語らずして語るという「ネタバレ防止で感想の全体主義」があって、中身をあれこれ予

想妄想できた頃が一番面白い！ と、思われるが、如何だろう？

事前情報で知れるキムタクが高畑勲なのか、ペリカンが高畑勲ではないのか、大叔父が手塚なのか、それともやっぱり高畑勲なのか、吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』を読んだ主人公はガッチンにあたる人物をちゃんと裏切るのか、それともガッチンを裏切って生きている多くの観客≒消費者の代用品として、うしろめたさを失くす君生エクспロイテーション映画に仕上げているのか？ そういう唾棄すべき「商品」でなければヒットはしないが火野正平が「トウチャコ」と言わないのか、言わないのなら、出て来る意味がないんじゃないか？ 朝ドラでコメディリリーフされるお笑い芸人じゃないんだからと、得手勝手な憶測を試みるのは、確かに楽しい。

事前に読んでおくべき宮崎の著作は、岩波新書の『本へのとびら』だと思う。たぶん種が割れると思われる。素材源である数々の児童文学、そのブリコラージュになっていると、なんとなく観る前から、わかっている。(ナウシカの評論、書いてるから。マンガの方の)

もちろん、吉野の『君たちはどう生きるか』にも言及している。挿画がいいと、語っている。

「人生は生きるに足る」と、書かれているのが児童文学だと、宮崎駿は持論を持っている。そのアニメ映画を作るのが、宮崎の「天職」(神から与えられた職能)であろう。

我々(ジブリを卒業した者たち)は、これを真っ向から否定するエドワード・ゴーリーをもう知っている。翻訳した柴田元幸さんが「子供という概念が存在しない」という近代的人権意識の無い頃の子供の扱いを、表現している。

私はあの映画を実は少し期待している。

ああ、これは高畑勲や二木真希子さん、大塚康生だけじゃなく、ジブリ映画の制作に関わってくれた木上さん、京都さんの准ジブリアニメーターたちを悼むために作られていたと、わかったら、あの映画を認められる。

それは大きなネタバレ、誰も語れないと思う。

※ 今回は『なんとなくクリスタル』方式で本文と注釈で執筆人格が分れているようにしたい。だから、注釈が書かれているのが「有料」。

* n VOL.1で、『2』について語った「鬼切り鶴子の因縁語り」の補足を付け足すと、シナリオライターが途中降板して、緊急に梶田さんが鶴子のシナリオを継ぎ足したのである。

宣伝し広告し、やっと売れる。

こうこうせい えんげきにゆうもん

高校生の口演劇入門

新しいメソッドの習作あるいは目覚めたシステムの黎明
を 1から3 まで収録

広告

99yenでアマゾン kindle で発売中



銀の宣伝 11.jpg

夏の
人気メニュー

シーフードたっぷり
アツい季節に
辛ロカレーが
たまらない!!



シーフードカレー
イタリアン ¥480 (税込)

Itaian
みかづき
TEL 0254-26-5090

どうして どん兵衛を広告したいの
に
みかづきイタリアンの
カレーイタリアン を宣伝してし
まうのだろう

……
同じ うどんに使う麺 を加工

そうか どん兵衛は うどんじゃな
い

ラーメン次郎はラーメンではない
と同じく
どん兵衛はうどんではない
うどん麺を使用したどん兵衛
というジャンルだったんだ

盲点だった

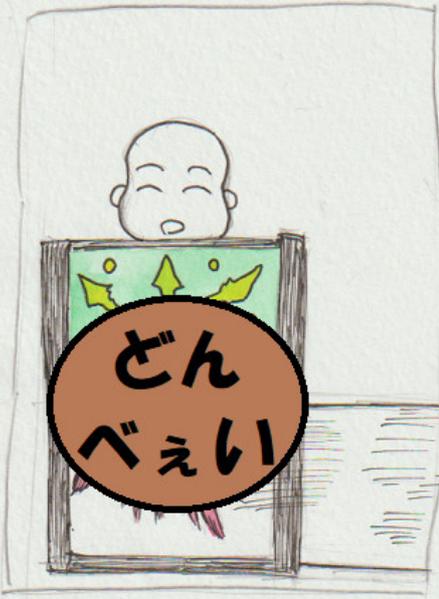
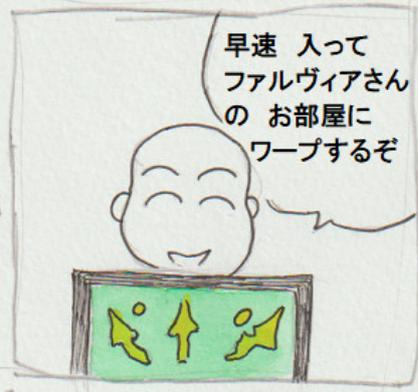
みかづきイタリアンは イタリアン
ではない
ナポリタンの親戚である

どんの広告 11.jpg

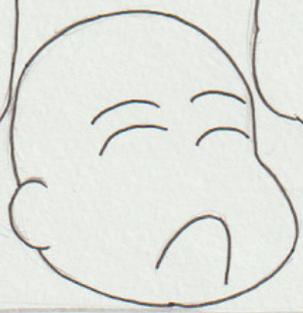
~~どん兵衛~~
生理用品の
コマーシャル



かよとのかまこ



うどんのどん
からどん兵衛
だったから
ぼくの下半身
も……



そういえば
これ
どん兵衛を
勝手に広告
していたんだ

CG回収

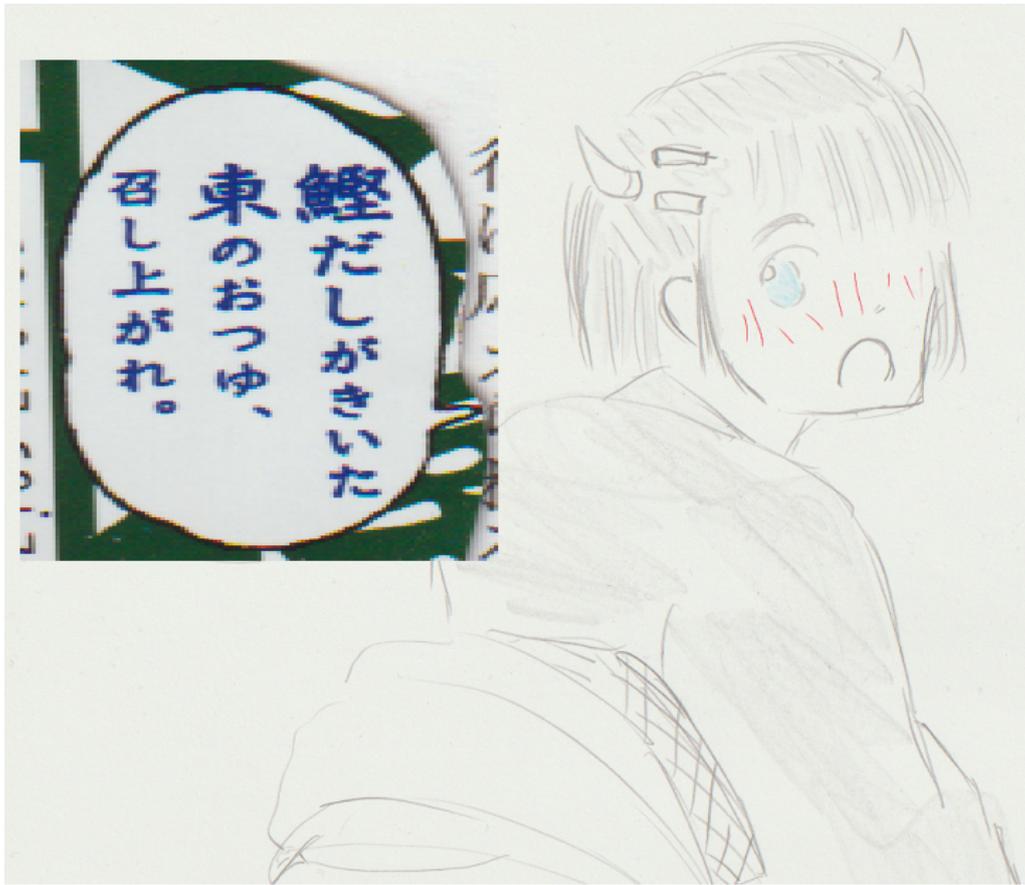
どんの広告 10.jpg



どうせサッカーは負けブツだからな。

どん兵衛じゃなかった
マルちゃんの赤いきつねだった
ブレインフォグのせいなんだろうかねえ

どんの広告 06.jpg



パロディを許して頂きたいので クレシダで どん兵衛の広告

日清さんには
なんか

どんの広告 01.jpg

たかひろー
(声の出演・福山潤)

星野源の持ちネタの「ガッキ——!!」って叫ぶヤツと同じ福山くんの持ちネタに

進撃の巨人の冒険
 Blu-ray&DVD SERIES
 NOW ON SALE

価格はいい値 垂t頃
 レンタもいいと 買え
 動画配信サービスもあつよ

いしかわじゅんの広告 43.jpg



「こんな中国人、
いるわけねえだろ」
と春麗に言いそう

あきまんといしかわ先生を
お互いに噛みつき合わせる
いがみあう 悪い闘犬にしたい
現代の熊いじめを皆 見たい

いしかわじゅんの広告 52.jpg



どんの広告 12.jpg



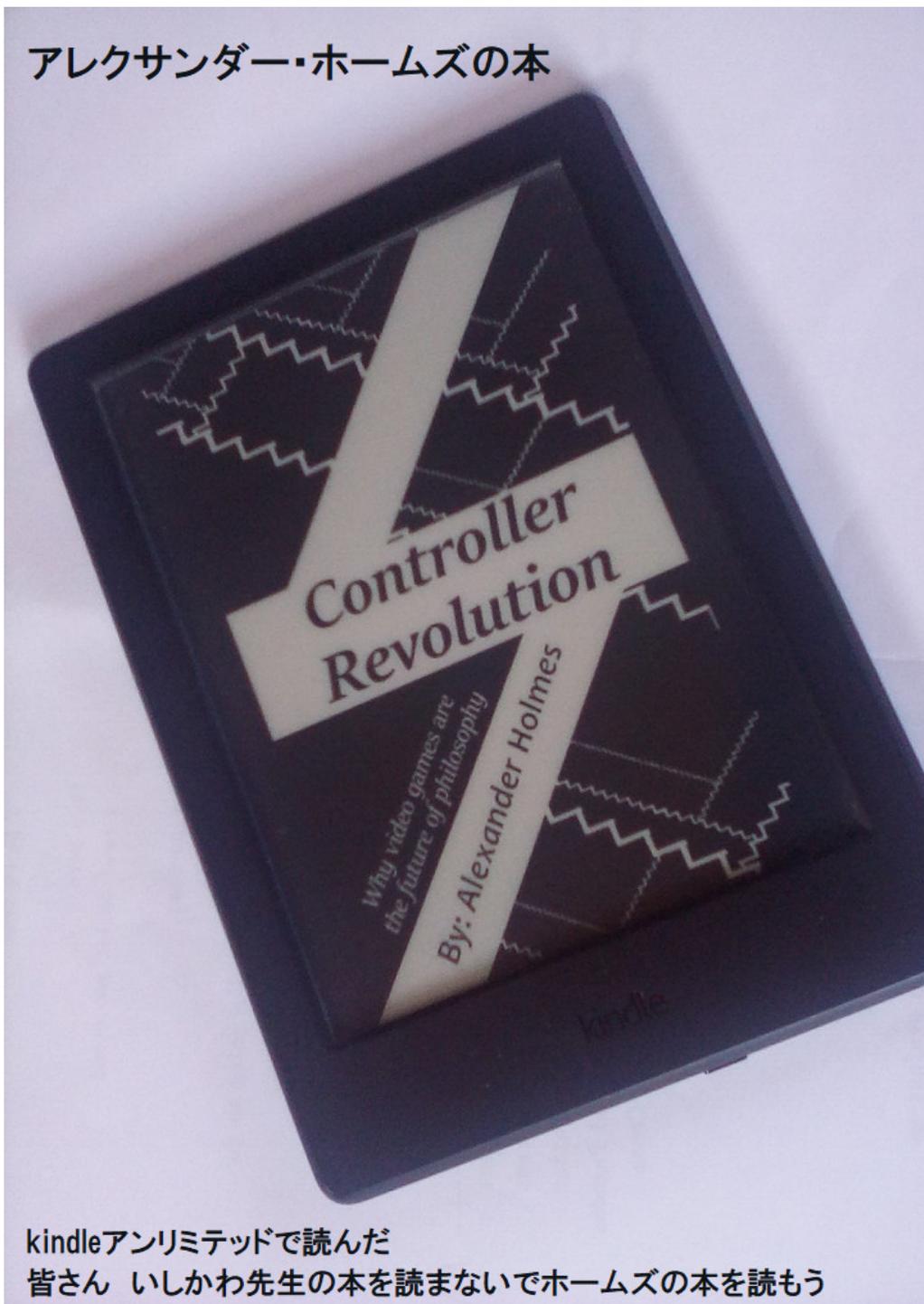
どんの広告 20.jpg



七五

どんの広告 13.jpg

アレクサンダー・ホームズの本



kindleアンリミテッドで読んだ

皆さん いしかわ先生の本を読まないでホームズの本を読もう

金の広告 006.jpg

日記だが完成したらダイアリー 2023 に収録 その二

あり思制作日誌その二十二

「数々の悲劇を回避して、参りました」

という事で、悲劇を浪漫劇にしているのか、という問題である。「それが問題だ」の作る側の問題劇。問題劇は短編「美女か虎か」に集約される。

虎ではなくパンサーの方で、風の噂、「う～わさ♪ うわさ♪」で、あるソフトで死んだ父親が蘇る、パパが生きかえって仲間になるのである。

「いいのか？」

関係ないけど、鳥山明のキャラクターデザインだと、悲劇は色が合わない、と思う。明るく楽しい明朗な話にこそ鳥山キャラの良さが出て、コメディやバトルアクションには向いている、と。

その前に、どうも人魚亭で英軍がアルマダ海戦で勝利した報が届くと、祝杯をあげて、ベン・ジョンソンとかの当時の著名人たちがいて、ガンパウダー・プロットのガイ・フォークスもいるという、『「坊ちゃん」の時代』のオマー・ジュ・リスペクトが、ちょっと入らないみたいだ。あの場に、安重根がいたはず。(文庫を持っているのに読み返してない)

正直に言うと、アルマダ海戦勝利時に、クリストファー・マーロウが生きていたとか、いちいち調べるのが面倒であったのも、実はある。(マーロウは生きているけどベン・ジョンソンがデビュー前らしい)

で、悲劇は基本、主人公格の人物(用語のヒーロー・ヒロイン)が死ぬ結末である。それで悲劇にも種類がある。

抒情悲劇、残酷悲劇といったサブジャンルといえはいいか、言にくいけど、そのうち、実は残酷悲劇を回避できなかつたりする。そこは何度も言うように、偉大な悲劇に仕立てないといけない。

史劇や喜劇(コメディ)、これの組み合わせである。小劇場は密室劇とか、小屋の特性を活かした「出し物」である。(江戸時代では素人さんのやる茶番劇というのがあった)「ハムレット」でポーロニアスが列挙した「悲劇」「喜劇」「歴史劇」「牧歌劇」「古典劇」「ロマンス劇」で、後は複合ジャンルとなる。悲喜劇やいろいろある。

歴史喜劇が『風雲児たち』で、「らんまん」が好きなら絶対に読んだ方がいいマンガ。

そうしたスタンダードな劇ジャンルに、ベケットは不条理劇という新しいジャンルを発明した。

喜劇色が強ければ、不条理喜劇になるのが別役実で、別役さんを薄めると宮沢章夫になる。(この演劇観でいいのか?)

ファルスの起源は、わからない。何か古典ギリシャ喜劇に遡るのか、そこまで専門的な知識は持っていない。ロマンティックコメディ、が沙翁の十八番ということになっている。

ゲームでは、このままでは悲劇が起こるから、「選択肢を変更」するためにリロード、再チャレンジを繰り返し、この辺りが東浩紀の言うゲーム的リアリズムで、それをゲームジャンル以外にも、応用しはじめたのである。ゲーム外でゲーム的リアリズムが一番成功しているのは、女の子の攻略ルートが複数分れていて、そのルートの数だけマンガに描いちゃったのが『僕たちは勉強ができない』である。

ともかく悲劇になるから、回避する動機が生まれる。攻略ルートが無い女の子は「悲劇」であるという「批評」が複数のルートを生み出している。

その話はエルフさんのゲームソフトが先鞭であった。『ドラゴンナイト4』のエトがいて、キミがいる……というつまらないギャグをして、内容を少しマスクしておく。（キミの部分にキャラクター名が入るが「殿下の御前でないと言えねえな」）

DQVの青年がオーブをすり替えるの——最近、なぜかFANZAさんでPC98クォリティーだけど現行Windows移植版『YU-NO』がダウンロード販売されるようになった。長い時間をかけないと移植費用の採算はとれないと思うが、FANZAさんの中でも再評価が求められているのだろう。『YU-NO』はアニメ版があるので動画配信サービスで倍速視聴して調べられる。（故人となった酒見賢一さんも高く評価しているのを噂で知り、著作のあとがきに書かれているという）

以後フォロワー作は、言葉が悪いけど縮小再生産になってしまう。

しかし、悲劇のままでもいいのではないか？ という疑問がもたれる。悲劇は英単語ではトラセデーである。

エルフさんは悲劇を回避するために、いろいろな行動をする主人公が出てくるゲームソフトをリリースしたけれど、結局ソフトハウスとしては悲劇を迎えた、というか自然人も法人もけして無限に生きられるわけではない。

それはゲーム史としては仕方ない。90年代の決断主義と言えいいのか、ゼロ年代を先に用意していた気もする。

浪漫劇には、いつかある臨終のシーンを描かない。「めでたしめでたし」ですませりゃ、いいのである。

マンガでは、よく手塚治虫が悲劇をマンガに導入した、と言われる。誰もが知っているから書けるが、ミッチイ（ヒーローでありヒロインでもある）は溶けてなくなるのである。

沙翁の時代よりちょっと前、牧歌劇が流行っていた。ホントに羊飼いが主人公で牧場が舞台で、現代の牧歌的の語源、のどかなストーリーでミュージカルちっくに歌うゆるい演劇。「まんがタイムきらら」の平均的な作品である。

『かなしいときはそばにいて』だっけ？ そういうのは、ちょっと違うのである。毛色が違う。

注 『甘えたい日はそばにいて。』 が正解

当の沙翁作品でも「冬物語」あたりで、パーディタが拾われる先の羊飼いと、乙女ジャンヌの父親とか、羊飼いのものが役として出て来るし、ヘンリー六世が「羊飼になりたいよ」とか、日和った事を言っている。

沙翁が登場人物に自分の本音を語らせているのか、酒場で「最近では悲劇ばかり、牧歌劇の方が良かった」と客が言ったのを耳にして取り入れたのか、「まんがタイムきらら」で悲しい作品を作ったと、これは批判したような——これは私の意見ではない。

酒場でおじさんから聞いた話という事に。

どうやら、その名残であるが、16世紀前半は宗教改革の嵐が起き、身内の宗教家が処刑されたり、支持者が拷問されたり、大きなところでは大逆罪で殺される、そんな時代である。（このあたり『リア王の時代』に詳しい／神父さんを助けるためにイザベラさんみたいになっちゃったりする人もいた）

悲劇にカタルシスを得る時代性がある。

悲劇を接種して耐性を付けないと、いけなかったといえるかもしれない。

戦前戦中の児童漫画とは牧歌劇で、手塚はチューダー朝後期の悲劇も表現するようになった——そうしたマンガ評は、読んだ事が無い。

手塚が戦後、牧歌劇的児童漫画から悲劇に入れられたのは、戦争体験で手塚も読者も悲劇に耐性があった、と。（これも具体的に何か批評で読んだ事は無い）

最近では手塚論という、ど真ん中で中心のマンガ評論も売れない、ウケない。

あの時代では宮廷で流行った仮面劇もあるのだが、古代ギリシャの如く、演者が観客であり、観客が演者である、に近いのである。貴族たちが仮面を付けて、仮面役者（マスクー）と混ざって芝居をしていた。（「テンペスト」でちょっとあるやつ）

さらに時代が進むと、沙翁晩年期には少年劇団が隆盛していて、今の人間にもわかるような言い方だと、東宝演劇から2.5次元ミュージカルが流行っているような趨勢である。

マンガでは描かないとか、描けないとか、オルテガは神龍に願えば復活するのは、リメイクを未プレイの方には重大なネタバレになるが、『君たちはどう生きるか』じゃないのだから、ここで書いてしまうのだが、そういうプレイ、ドラクエタクトみたいにできる。

改作リア王じゃないか。

「それでいいのかあ？」

手塚マンガを原作にアニメを下手に作っちゃうと、改作リア王みたいに浪漫劇にしちゃう。手塚眞監督の『ジャングル大帝』は、ムーン山までやらなかったから、ああした大オチになったと思う。

大友の「手塚の掌にいる」のように、「沙翁の手の平にいる」である。

「言葉とはシェイクスピアなり」

西洋演劇はどうしても、そこに遡る。

沙翁も「ヘンリー五世」は史劇だけど、歴史浪漫劇になっている。改作性である。アジンコートが決戦で勝ち、一時的優勢は得たようだけど、史実ではその後、というか「ヘンリー六世」シリーズで描かれた件で、外地領土を失う。

世阿弥の能劇以前に幽霊を“かたち”となって現れることは無く、“かたち”を表したのが世阿弥以後の能劇で、それ以前は幽霊を感じることはあっても、見た事は無かった説がある。

なんか「ハムレット」も同じだったような、
幽霊を登場させる、これがどうも
今までしていなかった事らしい。

(メンコに着想を得てポケモンを作った話と同じになるから、断言はできない)

ちょっと話を戻すと、円山応挙の絵で幽霊に足が無いのが広まったように、世阿弥以後で変わってしまったらしい。幽霊をそもそも表現していなかった説。

確かに崇りや怨念による霊障を避けたかったから、口にするのも憚る、ましてや文字にするなんて、当時の幽霊観では「ありえない」と、思われる。

獏さんの『陰陽師』の世界だから。岡野玲子のマンガでおなじみ、写経中に「如」を墨で汚したら、口無しの女が出てくる。すみたらすな、である。呪文と言うか、そういう文字の呪術性があって、百物語・怪談で幽霊の話をする、本物の幽霊・怪奇現象を招き寄せてしまうようなモノ。

それで佐渡島に世阿弥が流罪になったのは謎だけど、誰かの幽霊を能劇にしてしまったから、当時なんらかの病、疫病が蔓延したのではないか？ 観劇した人が病に伏した？ そういう偶然、偶発があって、そもそも能劇で幽霊なんか表現する、こんな罰当たりな事をしていると、偉い人の勘気を被ったからでは？ (現代の統計学的な見解は「公演を多くすればするほど機会が多くなり偶然が起きやすくなる」)

幽霊に関しての文は残せないから、記録に書きちゃいけない。沙翁の直筆の手紙が残っていないようなもの。

たぶん、霊のことを書いてしまい、何か病気になったら、僧によってお経を唱えながら、焼かれる。調伏する儀式をする。護摩を焚く。(用法としては「昼寝で寝る」「頭痛が痛い」みたいな悪文らしい)

本来の意味の護摩化すか？ そこは本当にわからない。幽霊が存在すると書いてしまった文書を「そんなことはない」とゴマカした、から転じて「誤魔化す」になったかは、わからない。

かつて御霊信仰があったので、崇りだと言えないから、社に祀って、崇め奉ると。藤原道真とか、いろんな人が「神」としてあがめた。それで崇りを免れようとしたらしい。(たたりもあがめるも同じ「崇」なのでややこしい)

平将門の生首伝説も物体が浮遊したから、人々の口にのぼっているのではないかな？
幽体じゃないから。

日本独自文化というか、昔の時代を知らない人は、何故そうなるのか、よくわからない点である。古来から歴史上、そういう事を何度もしていた、らしい。

もしかしたら、靖国神社も国民を騙して崇られないようにする仕組みだと、英霊がか
わいそうだ。

ポール・クローデルの、
「劇は何かが起こることだが、能は誰かがやって来ることだ」

と、幽霊はやって来る。ハムレット父がエルシノア城にやって来るに擬えられる。

その誰かは、ある人物のゆかりの地にやってきて、地元の人物と出会うが、後でその
他の地元民（ヂモティー）に、「それはさる人物の幽霊ではないか？」と、いつものア
レみたいと言われる。

問狂言。

で、夢で例の人物の幽霊が現れて、ドリームタイム開始。

この夢幻能の発明者が世阿弥とされる。（エドモンド役・古川日出男史観では犬王が
発明）

歌舞伎だと能舞台の橋がかりの影響か、霊的な存在だから、すっぽんから出てくると
いう、様式的な約束事ができる。

水平的劇ジャンルの拡張と、垂直的劇ジャンルの掘り下げといったところか。

現代劇≒世話物 は水平的な時期の出来事、あるいは如何にもありそうな事をフィク
ション化した劇である。

時代物は過去の歴史を芝居にする史劇で、垂直的な位相の劇ジャンルである。

S F は近未来や超未来を舞台にする、垂直的な劇ジャンルの拡張、過去を劇にする
という歴史劇の再発明ではないのか、未来を劇にする。だけど、チャベックの「ロボット」
のように聖史劇の焼き直しだったりする。（バランスを取ったのか？）

全編通して、ゲームをプレイすると、救えない悲劇がある。救えない残酷悲劇。源ちゃん
の言う「偉大な悲劇」である。しかし、本当にそれに仕立てる事ができたのか、自分
でも疑問がないわけではない。

悲劇を全部取り除く事ができなければ、造語になってしまうか、ロマセデー、撞着語
法的な浪漫悲劇になる。ロマンティックトラセデー。

三つ目（「ヘンリー六世」第一部にあたる）が、そもそも悲劇。

モンマスさんの「列王史」と同じ内容であるのは、繰り返し弁しているの、オチが
わかってしまうが、悲劇をロマンにしているのか？

こういう件はアニメシリーズでも、例として二つ出せる。

『コードギアス 反逆のルルーシュ』のR2も含んだテレビシリーズ全体は、ピカレス
クトラセデーであった。時間が経ってから続編を作って、ピカレスクromanにしてしま
う。（『名探偵ホームズ』に近い）

『魔法少女まどか☆マギカ』は、マジックガールトラセデーだった。

ロミジュリなわけである。

ロミオとジュリエットが亡くなる事で、キュピレット家とモンタギュー家は諍いをや

めて、和平的に向うという希望はあった。ルネサンス前のイタリアは本当にあんなふう
に諍いで殺し合いをしていた「わかりやすさの陥穽」である。「ハードボイルド室町時代」
のように、ハードボイルドルネサンス前期である。傭兵隊長が戦国の梟雄みたいに一国
一城（正確には一都市一国家）の主になったりする。爵位も得る。（『ベルセルク』は
そういう歴史資料の“取材”をちゃんとしている）

テレビシリーズはテレビシリーズで完結していたが、続編のこれも反逆が付く『反逆
の物語』で、暁美ほむらのロマンになってしまった。

偉大な悲劇だったはずじゃ？

それで「かいてん」である。

ともかく、「リア王」は人気作だったから、改作したのか、という当時の件と一致する。
上演を繰り返す処置としてハッピーエンド、浪漫劇にした。

資料を読み返したら、19世紀半ばまで、改作を演じられていて、どこかで「20世紀半
ばまで」となっていたら、誤記入したまま放置していた。ナーバムの森である。たぶん、
アヴァロニアにもあるのだろう。

1681年に改作し、1838年にマック・リーディンが元の戯曲に戻す。

さて、気を取り直して、

芥川龍之介の出典がわからない言葉がある。

☆

悲劇とはみずから差ざる所業を取ってしなればならぬことである。

この故に万人に共通する悲劇は排泄作用を行うことである。

☆

排泄の問題は、この場では言えない。

それで出来てしまった赤ちゃんが育ち、お父さんと戦う話は「列王史」や「シャー・
ナーメ」（タハミーネの息子の話ね）にもあるらしい。

ヘンリー・ダーガーの『非現実の王国で』も複数、二つのエンディングを作っている。
勝利のハッピーエンドと、ヴィヴィアン・シスターズが負ける敗北エンド。

あんまり、未完成（そもそも日誌は未完成でもいい独自ルールを設けている）も多い
し、黄道十二宮のことも触れておく。

体液とつながっている、ステータスどうするのか、に繋がる話なのだ。

Wikipediaを見れば、獣帯人間（天秤や水瓶はケモノなのか？）の図があるし、どこ
かで引用した著作権切れの絵図も載っている。

別にそれで悲劇が回避されるわけじゃないけど。プログラムの著作権問題を回避でき
ればいい。世界観の問題を回避できる。FEはうまく日本人のファンタジー文化でもわ
かるように作っている。

なんで西洋人は、こんな事を考えたのか、歴史的にはヒポクラテスが端緒で、それを
後のガレノスという人物が四体液説を広めたらしい。ゲームでは一つか二つ足すぐらい

である。

誰に聞けば、わかるかは、知っている。『女神転生』シリーズの原作者、西谷史先生。コンピュータプログラマーで占い師でもある。

エリザベス一世の宮廷に占星術師がちゃんと雇われていた。占星術についてはエドモンドのセリフがある。今テレビや雑誌のホロスコープの頁があるのは、その名残である。科学革命のルネサンスがイギリスに伝播しても、中世のオカルトを全て捨てられない。何が言いたいかというと、生まれる時代が違ったら、西谷先生は確実に宮廷占星術師になっていた方である。（藤森輝信が荒俣さんを「スコア学者になっていた」と）

でも、聞かない。

自分で調べないと。自分で答えを出さないと。

自分のモノにならない。

こういう件は遺題継承のちょっと、プログラムの著作権対策になる程度の知識にすぎない。（私ができただから皆できないとダメだよ）

手塚マンガでも、エジプト・ギリシャ・ローマ編の『火の鳥』（少女クラブ連載）を機会を得て読んだのだが、ロミジュリの悲劇の二人を、火の鳥が救済という、「シェイクスピアロマン」をやっている。

この間読んでビックリした。

もしかしたら、ぎゅーどらさんではない教養ある読者諸兄は手塚にならって「シェイクスピアロマン」で真似した、と思われていたかもしれない。

要するに手塚も悲劇を回避して浪漫劇にしている。

だから、沙翁にロマンだと。

「テキトーに付けた名前なんですけどね」

赤本で悲劇を描いていて、少女読者のために夢のある浪漫を与えたかった、と、手塚の作劇法として、

ところが、赤本で浪漫劇を作ったのに、改めて単行本化して復刻される際には、悲劇に作り替えている事を手塚はして、そんなヘンリー・ダーガーみたいな、一筋縄ではいかない事をしている。

沙翁の影響だったのか、他の人物、作家の影響なのか、それがわからない。

宮本大人に発掘されて、加藤てい象（大藤信郎の弟弟子）が手塚に影響を与えている。それも戦中の映画法でフィルムで配給的に統制されて、アニメ映画を作れなくなったから、マンガを描いたのである。

手塚研究が急がれる。

宝塚と手塚についてはあるけど、「沙翁と手塚」はどうもない。

そして、「沙翁と漱石」も、なさそうである。

もう、「富野由幸と蜷川幸雄」が控えているのに、やりたくないよう。

※ 『「坊ちゃん」の時代』 読み返した 後のまつり
政宗ホールにいたのが、ある人物で新橋駅にいたのが、さる人物である。二つともいたのが、国木田独歩で、なんか、映画化したい。
なんか、全部、一つの場で登場人物たちを集合させたい。

雨天“結構” 7.10

「ピッチクロックが早すぎる!!」のとか、イヤークロムは音嫌悪症になると、疎んじられ「ダメな曲」と思われるとか、いろいろ日記に書き記すには、小さすぎるネタがあった。

BS朝日の「とっておき車窓紀行」がヒット。「世界の車窓から」が無くなったから国内でロケ撮影で、地方路線の旅を見せてくれる究極のチルアウト番組。

撮ってきたモノを時間的な編集のみで、「成っている果実を切って出した」程度の映像。それが誘眠作用があって、寝てしまう。ながら観最適映像、悪い言葉だと観捨ててもいい。(本当に悪い言葉)

心配はロケ撮影時に、晴れてくれるだけ。

で、最近雨が降ってばかりで、夏じゃない。

梅雨寒とは言い難いが、過ごしやすい日々が続いている。

信越あたりの天気具合が悪く、七月なのに、30度を越える日が少ない。

東京の方では地獄の日々らしいが、この過ごしやすい時期は早く終わって、ちょっと暑くなって身体が慣れないといけない。

暑さに耐える身体を作るために、ランニングした後に牛乳を飲む、血を増やすのである。

これで、急に暑いのが連日続くと、体調を崩す。

適度に暑い日で身体を馴らさないと、昔言われていた日射病、霍乱になる。

小さい文字指定

ファイファンの新作がやっぱりというか、「そうだよね」か、初週百万本いかなかった。ファイファイに書き直そうか。「月ベスマガ」のことを悪く言えない。

たかびろの声で「ファイナルファンタジーの思い出はこうして色あせる」と、思った。輸出工芸品になってしまった。

洋画が日本市場だけ売れないみたいな、スーマリヤトップガンは当たった洋画であって、当たってない洋画はキネ旬を読むと、覆面さんが「期待外れだったね」と、何回いうんだ? というぐらい南海スタンカ。

その話はもう結構でしょ? けっこう洋画は日本だけ苦戦することが多い。ヒット作しかトピックにとりげられないから。魔界帝国の女王を知っているから。

嫌われていると、たいした事が無い発言でも、皆に文句を言われる。

Mさんが音の高低の差がちょっとと、発言していて、それはイヤークロムの特徴の一つであるから、流行りの曲を聴覚の衰えで、耳障りな曲に認定してしまい、夜遊びの偶像を聴いても、耳に虫がたかるようにこびりつく曲、イヤークロムにはならない。認知の歪みではなく、加齢からくるモノで、なんか、ガンになってしまって味覚変化が起き

てしまった悲しいグルメ評論家みたいになってしまっていると、心の中で思って、内に秘めたこの思いを公けにはすまい。（書いてんじゃねえか）

こんな未完成の時期が二・三か月あるクソ日記を読んでいるわけないから、ご本人様が。耳障りな曲になっても、金輪際現れないと思うから、公開しても二番星だから大丈夫。

吹越満のネタが終わった後みたいに、「オールスターでもピッチクロッチするんですよ。せっかちすぎるのも考え物ですね」と、よく考えたらティックトックって、「口から手が出る」を皆、芸を培わずに加工編集映像でインスタントに出来てしまう事だったんだ。

まあ、私も音嫌悪症の「暑気症状」が出ていない気もしないので、『推しの子』観てなかったのかな、「初期払い」したい。

リアルストッパー毒島だと、藤浪くんのことに触れようとしたら、オリオールズに移籍になってしまった。

8.d アンサンブルコンテスト観てきた 8.d

日付をマスクする意味がない。

広島カープのことしか POST しない、これ以上は言えませんが、他球団の先乗りスコアラーさんは、覗いた方がいい、どうでもいい話題というか、アンコンを観てきたのである。

某映画のムビチケを買わず、こちらのムビチケを買って（ほとんどの人がカッテに『君生（きみなま）』のムビチケを買ったと思っていたと思われる）、前日、すでに日付が変わって当日の午前二時のトゥエルビのレポート放送を観て気合を入れて、というのは書きすぎ。後で録画したのを観た。観返した。（BD に焼いたのをどこかにやっつけてしまっている）

ファンの中で議論が巻き起こるか、ある場面の演奏シーンを「キャラクター紹介（たとえ）」になっている、と。ここに生産力の低下を見てしまうか、何か事情があるのか、それはあんまり、深く突っ込まないようにしたい。

秋に公開、せめてお正月映画にすれば、よかったのか、それまで、空きを作れなかったのか、松竹の番組表で夏場に一本ほしかったのか、

皆、待てなかった。

原作をそのまま映像にすると、ざっくり 40 分から 55 分までで、一時間無い話。ちょっと十分どん兵衛している。

季節的に、チョコまんを食べる時期のストーリーで、原作通りチョコまんを食べている。これは何を食べたぐらいだから、大丈夫だけど「種」「筋」が割れるのが、全部イヤだという人がいるけど、ビデオソフトや配信のユーザーにそこまで気を使いたくない。（だからあの映画の事前情報を宣伝報道しないのがわかる）

チョコまんを食べると言う「季節」も割れるのがイヤだ、というそういう人もいるかもしれないが、秋冬だったら映画館の近くのコンビニは、チョコまんが売り切れになるからね。高畑勲系統のプロダクトプレイスメントの力は、あなどれない。（ナルトかなんか観て外国の人が炬燵に入りたいと思ってしまうようなモノ）

ベストメンバーというか、久美子を誘う、誘わないに、何かいい雰囲気が匂っている。（直接「百合の臭い」と書かない）

マリンバの曲がミニマルミュージック的な、BS プレミアムでやっていた、スティーブ・ライヒの「ニューヨークカウンターポイント」っぽい。

その曲を思い出した。

マリンバ奏者の人が、ライヒの曲を演奏する、これ以上を書くと、マリンバの人がヒューチャーされているのが、わかってしまう。

もちろん、最後にテレビ放映の新シリーズの告知があった。

大げさな表現では、小便をちびりそうになった。

小さい文字指定

日記に書いちゃいけないことは、

「桜井孝宏が出演していたことには触れないのか」

と。同日に衝撃的な声優交代が公表されて、神谷さんになってしまった。

こちらには滝先生が神谷さんになっても、受け入れる準備がある。

「何時でもいいからね」

なんというか、たとえ話だけど、亡妻の夢を叶えた夫が、知り合いの娘で教え子（れいな）と結婚したら……そういうのは、コミックマーケットでいくらでも、ご販売されているけど、そういう話だから。

そういえば、緑先輩と月永くんの理想の妄想を……これ以上はやめよう。

八月 23 日が滝先生の誕生日であるが、ねつもじではパンフレットを読んでいて、たかびろの誕生日を読み上げてなかった？

人間に備わっているのは第五感まで 9.6

『第ゼロ感』のミュージックビデオの歌詞を眺めると、『これ八村塁くんのことじゃないか?』とってしまう」

ワールドカップバスケットで首を傾げる、何かノれないというか、東京ポッド許可局の「興味がない論」「誰だ、おめえ? 論」(「誰だこいつ? 論」が正解)を聞いて、似たような話である。

他のスポーツを支持する人には、嫌われて気を悪くすると、いけないが、正直に言うとスポーツの代表戦は、お腹いっぱい。もう入らない。そんなに世界水泳を観ていなかった。『Free』の最終作を観ていた。

バスケットに興味が無いわけじゃない。だけど、もう入らない。ほんとに、HDDの空きが無いから、WBCみたいに、録画していない。スポーツ中継ながら観しながら、何か作業をするのが、趣味だけど、バスケットは録画しなかった。

たまたま、『「坊ちゃん」の時代』を映画化したい企画の一環で、『漱石の孫』を読み返すと、夏目さんは“マスコミはずーずーしい”と、ジャニーさんにいい思いさせてもらって、バレはじめたら掌返しで、「勝ち馬にのってきやがって」と、思う。

タツオレイシストの気持ちがわかる。

で、視聴率だとドイツ戦は約8%で、ロシアと戦争になるかもしれないフィンランド戦の逆転劇で、報道番組・ワイドショーでとりあげるようになる。(こういう冗談を書くと本当に戦争になってしまいがち)

ついでにスラムダンクの話を出して、10フィートの「第ゼロ感」をトピックのVのBGMに流して、

「違うんじゃないか？」

と、ずっと眺めていた。

ワイドショーでもスラムダンクを取り上げても、メイン視聴者であるお年寄りも、もちろんスラムダンクを知らないから、スラムダンクハラスメントになってしまう。映画放映枠で、何十回と放送しないと、いわゆる「人口に膾炙」が起きないし、それでもカリ城とか知らない人がいるからね。

当の日本代表は、優勝していない。初戦のドイツ戦で負けたのが響いて、得失点差で予選リーグを突破できなかったらしい。

実は、よくわからない。

そこを報道しているのを、たまたま見ていなかったのか、なんでワールドカップの順

位でオリンピックに出れるのか、よくわからない。(これも正直に書くと興味がなくて事前に情報をまったく仕入れていない)

『ファーストスラムダンク』は未見だけど、面白いと思う。それと繋げたい、気持ちはなんとなくわかるけど無理がある。興行成績がいい、累計観客動員数がいい、じゃなくて、リピーターがいるから、あまり外に広がっているようには見えない。

スラムダンクはドカベンメソッドを他のスポーツでも、可能であったとする一番か二番かの成功作。それは作者がちゃんとドカベンに言及しているし、ドカベンの前にはちゃんと、スポーツマン金太郎があるのだ。

それで代表選手たちは、別にスラムダンク世代じゃ、ない、と思う。

『ジョーダンじゃないよ』世代と、本人たちは言うだろう。

まあ、冗談は抜きにして、マンガに影響されても、『黒子のバスケ』世代だろうと思う。幻のシックスメンが八村塁くんとか、そっちの話題の方が通じると思われる。

だから、繋がらないと思う。スラムダンク奨学金で代表選手になれた人物はいるの？

LINE グループであれを見るとメッセージを送っていると、『スーパーカブ』の道交法違反現象みたいに、闇アカ裏アカで叩きにくる。自分の趣味に合わないモノを付き合いの関係で観ると、期待を上回らず、青春の表現として目を潰れる道交法違反をしたら、スゲエ文句を言う。

同じく五輪で成績がいまいちな選手に凸していたのは、観ろって言われて、無理して観ていた人だったんじゃないのか？

そもそも応援していた人は、負けても労う。

彼らとは違う、付き合いで中継を観て期待に反してがっかりすると、闇アカでオリンピック本人に直接文句を言っているらしい。(最近で言えば日ハム伊藤くん)

タツオレイシスト、になってしまうのである。

スラダンの話に戻ると、

「くっそおアメリカだ」「アメリカ行きだ」

と、スラダンファンにギャグを言えば、笑いがとれる。(本当は「オメエ何か、勘違いしてるぞ」とつつこまれるだけだけどね)

これをやると、『バカボン』の「教えぬ」「小次郎、お前には剣を教えぬ」(略)伊藤一刀斎の「教えてんじゃねえか」まで、やりたくなる。

井上武彦さんはコメディリリーフがうまい。

「何キミ、本当に高校生？」(略)「ゴリの方が老けている」

(前略)「近いから」

「ちょんわ、ちょんわ」

これを知らない人になると、スラハラだから。

なんとなく私がカミナリのツッコミの方によく似た富樫くんを生理的に嫌いなのは、わざわざ書かなくても、伝わらと思う。富士王朝の北島康介と、富樫くんは何か「好ましくない」と感じる。その理由が無いから困る。悪目立ちしたとか、ドブに落ちたら喜ぶけど、どうもまだ解明されていない生得的に、何かある。

百田くん、百瀬くん？ バドミントンの彼には嫌われる理由がある。賭博をする事が違法になってしまう件で、悪感情を抱かれても仕方ない。スポーツ選手がこうした事を

すると、借金背負わされて、試合内容をコントロールするとか、良くないから。引退後もバドミントン協会の会長なんかになったら、たまらない。選手の強化費用をギャンブルで溶かすとか、やっちゃいそう。

だから、五輪出場停止処分は重いけど仕方なかった。

それから、交通事故にあって後遺症で二重見える、新型コロナにかかる、不甲斐ない結果に闇アカで凸されていたと思う。

かわいそう、とは思う。

下痢してペン入れが遅くなったとか、そんな事ないけど、こんなバスケの日記のあっていいんでしょうかね？

それに WBC で浮かれていた時は、皆さんに嫌われていたのでしょうかね。

野球好きの皆さん、浮かれるのも対外にしないと、叩かれますよ。

小さい文字指定

八村くんは温存というより、サマーキャンプに参加しているのだろう。（話に拠ると休養をとっているらしい）

大谷くんは故障により、登板や試合出場が見送られている。休めなかったのだろう。ニューストピックで、彼の活躍がとりあげられ、将来の野球人口の変動にも影響する。

補足 90年代の段階で大塚英志がマンガを教える専門学校に入っている生徒たちが「手塚が……」と言っても、知らない。「あしたのジョー」を知らない。「萩尾望都」を知らない。それで、二十世紀になって岡田斗司夫が「これからマンガ家になろうとしているヤツがドラゴンボールを知らねえ」と驚く。

同じく、スラダンをバスケをする人が知らなくなる。もしかしたら、ファーストを作っておかないと、「面白いバスケマンガがあったんだよ」と歴史に埋もれていたかもしれない。

周回遅れのニューストピック 10.1

朝、特撮とひろプリを観るわけではないのに、起きてしまい、テレビを付けてチャンネルをリモコンで回すと、「おはよう日本」で障害者向けのゲームのコントローラーを開発している会社取材したトピックが流れていた。

TVer で観てほしい。(観れません。NHK+ です)

tagtype を取り上げてほしい

小さい文字指定

「ザウォールオブゲーム」でプラチナゲームスの名前を覚えてない人をなんか、ちらっと観たら、プラチナゲームスを辞めてしまった

「鹿島さん、これって……」

前後しているから、スピっているわけじゃない。

スピってるのは、能登麻美子だけで充分。



執筆中

昔はロボット出せば
売れていた時代が
ありました
今はガンガルしかあまり売れない時代に
(○ンダムの間違いじゃないか?)

葉屋が独り占め 11.1

野球の例えだと、本格的速球投手が遅れてやってきたような感。(今日はサッカーのたとえはしません)

変化球ばかりなんだよ。

ブタに生まれ変わって美少女とずっとダイアログとか、「経済」「経済」「経済」みたいに「経費、経費」とうるさいロボットアニメ(「倫理、倫理と鈴虫のように」と許可局員にしかわからない事)を観たり、理由を端的にまとめて言えないアニメを観たり、彼女が友達みたいに百人できるかな? ギャルちゃんがオタクに優しいんじゃなくて……とアニメを観ていて、逆にストレスが溜まって、消化が悪い。(HDDに録画した番組の)

変化球をひたすら投げられているのである。

ツッコミ待ちで、打ち損じてほしい変化球でかわしていくピッチング。それでワンクールもつのか、完投できるのか、別な心配がある。

こんな野球を知らない人に、何を小賢しい事をごちゃごちゃ言っているのだろうと思われる。

後はシリーズ続編がちゃんと力量を発揮している。

いつもの味を出してくれるのである。

そんなテレビシーンに、『葉屋のひとりごと』で、日本テレビ系列で、三話を一挙放送された。(たぶん、ラグビーWCで放送機会が潰れたらしい)

今のクールでもし京都さんのテレビシリーズがあったとしたら、間違いなく覇権アニメになる。いつも京都さんに持っていかれる、北陸のアニメ制作会社でも覇権が取れると思う。

それで、東宝アニメーションという、二年ぐらい前あたりの新海監督のアニメ映画で稼いだ資金を使えるところが、ちゃんとクオリティーアニメを作っている。

三次元背景があって、角度が変わるという事にちゃんと意味がある。第一話の「第一場から第二場へ」、もう懐かしい『ペーパーマリオ』の動詞理論「角度を90度変える」である。先に進めるように、奥へ進めるのである。

独り言をつぶやいた「主人公の意図がわかる」と、回り込む。それでミラリング。要するに、作っているのは東宝アニメーションで、マス向けに作る東宝映画は「副音声映画」と、説明ゼリフが多く、ちゃんと映像の文法でわかるように、している。

葉学は『聖女』の葉・ポーションと被るが、タイトルに葉は入っているけど「毒」だからね、扱っているの。『柚木さんちの四兄弟。』みたいに、日曜の朝やウイークデーの夕方に放送できる内容じゃない。

魔法が無く、実在の植物を取り扱うストーリーであるので、チャットGPなんかで、「火薬の作り方」を教えてくれないじゃない？ コードで外さないよ。

副音声映画的なら「良い子はマネしちゃダメだよ」と入れないと、いけないけど、映像で語って、それが読み取れる知識と知能を持っていれば、『アリエナイ薬品』シリーズみたいに、絶対にマネしたりしない。面白いと思う視聴者が、自然とゾーニングされている。

「ロミオとジュリエット」で薬屋は重要なシーンであり、「哲学でジュリエットはできますか？」と、ロミオが言うけれど、お父さんとお母さんがいれば、できるんじゃないか？ と言いたくなるが、薬学で猫猫はできたけど、まあ、やめておこう。

たぶん、OLMだから、レイトンの娘があまり、アニメファンに「よかったね」と思われていない、上映会で払下げフィルムを回し見されて、鈴木敏夫に見つかるような、そんな作品じゃなかった。（だいたいねつもじで変にメールがくるやつは.....これ以上は言えない。）

だから負けられなかったと思う。

ポケモンをずっと作っていればいいのか、新規に何かするか迷ったのか、東宝アニメーションとタグを組んで、挑んできたのである。

しかし、津堅さんの本にある「降りられないハイウェイ」と言われたテレビアニメの制作ペースは、勧められない。人気キッズアニメを作っていた方が幸せだったはずだ。ポケモンの名前がある部屋が社内にあるのに、これから後宮が作られ、側室の名前の部屋ができるのは、いただけないと思う。ルージュラのところに阿多妃と書いてあったり、翡翠宮とかあったら、面白いと思うけど。

『銭』のみそ先生が、今、アニメ制作会社を取材したら、あれから環境が悪くなっていると思う。製造業でいえば、部品が海外で作られるから円安が進んで、国内の設計・組み立て工場化していた制作会社が打撃を受けているのは、なんとなくわかる。

前述の作品群（名指しは避けるけどクォリティーが高い方はフリーレンの事です）と見比べると、クォリティーアニメだから、高い評価を得ている。

華流ドラマの豪華さ、華やかさにはさすがに敵わない。などのネカティブ評価というよりも、華流ドラマで観て見たい。

厳しい制作で質が皆、下がっていて、なんとなく苦しい事情が慮られる。

資料を調べると、レイトンガール（レディレイトンでは？）と関係ないかもしれないけど。

『風のように雲のように』みたいな後宮アニメで、さらにミステリーアニメの系譜で、コナンから始まる殺人事件を取り扱うゴールデンタイムでは、そぐわない表現だけど、当時は表現していいのか、やや漣はあった。

不思議にできるようになった。

「不思議な事ってあるものですね」

ここで言えば、いいのか、あの映画のことを長年のジブリファンなのに、「新鮮だった」と語っていたら、マユツバ、ステマかなんか、ポケ老人化というか、「懐かしい。ハウルの頃を思い出す」でないと、おかしい。

ここでいう事じゃねえよな。

あのキャラクターは明智小五郎なのか、OLMを引き込んだメフィストフェレスなのか、そこは言葉を濁しておく。

小さい文字指定

野球の例えがわからない場合、脳内でバスケに変換して、水泳選手にもわかるように、変えてみよう。

脳トレです。

「はえ～もんだ もうプレステ発売から三十年か」十一月末日

ドリームキャストから、二十五年である。

そう、「ゲームラボ」の予告に書いてある。

「早い」と感じるか、時の流れの

ドリームキャストでP S Oが出て、オンラインゲームが家庭用に普及する嚆矢（くらんぶさんの『X』第一巻のカバーに書いてある……そういえばX-BANDもある）であるが、それが抜けている『ゲームの歴史』。

『セガ VS 任天堂』や他の書籍も読む、と、ドリームキャストこと“夢の配役”はなぜダメだったのかも、ソフト開発が遅れてソフトがリリースされていなかった

セガには一応、客がついている。ゾルゲ市蔵さんのマンガじゃないけど、ちょっと本道から外れる。

文句を言いたい内容なのが、わかる。わかるには、わかるが体制順応しないと、叩かれる第四巻と同じ内容が語られている気がする。

それを身をもって体験

『ゲームの大学』とかでも、機体名の誤植はある。

やはり、ソニーを悪玉にしたのが、問題ではないか？ セガの悪口も相当語っているが、

「プレステ2がゲーム市場を衰退させた」

ついでに「ファミ通」と「こんてぬ」の話もある。「ファミ痛」とした

「コンティニュー」が受け皿になったのも、

しかし、そういうハッカー的

自民党に維新の会

百田尚樹は訂正して何度も、出し直している。それは体制側に都合がいいからでは？

めちゃくちゃ悪口言われているけど、

森瀬さんが岩崎啓眞をポケモンとして使って、他にもいろいろと言われていたけど、本命はやはりソニー神話を守りたい。(後に16BIT センセーションの話題をファミ通.COMでして、裏取引がありそうな怪しい事になって、作品の正当な評価を害する点が、見受けられ言わなくても良い事はアニプレックスはソニー系列の会社だから)

また講談社が作家を守らなかった。

青山景の疑惑や、末次さんを守らなかった、ということでは？

これはチャンスを与えてほしい。

末次さんが『ちはやふる』でV字回復したみたいに、岩崎さんと稲田さんに

小さい文字指定

プレステの思い出って、ないんだよね。

永田さんの『魂の叫び』でマリオIIの8-4をプレイしていた人が、何度も穴に落ちて、一機失って「みやもとしげる～」と叫ぶ、ロックンロール(太文字指定)

似たヤツで『バイグラッドストーリー』でゲームをやった人しかわからない、ダメージを与えて、リスク値がどんどん上がってしまい、クリティカルを食らいやすくなるどころに、反撃でクリティカルを受けて、

「松野泰己ー」

ゴティックメードとモーターヘッドを同時に出せば、ネットニュースになったと思う。それから、バイグラがアリスソフトさんに、ヒントを与えたと思う。

コマーシャルメッセージ（eBOOKPromotion）



金の広告 001.jpg

大人になったらジブリを卒業しなさい



好評発売中

いしかわじゅんの広告 49.jpg



大人になったらジブリを卒業しなさいの広告.jpg



皆 大足派にな ろう！

これからは小足派だとバカにされる

大足派の避難場所(アジール)

アマゾンさんキンドルくんの方で
有料のヤツも読もう

いしかわじゅんの広告 07.jpg



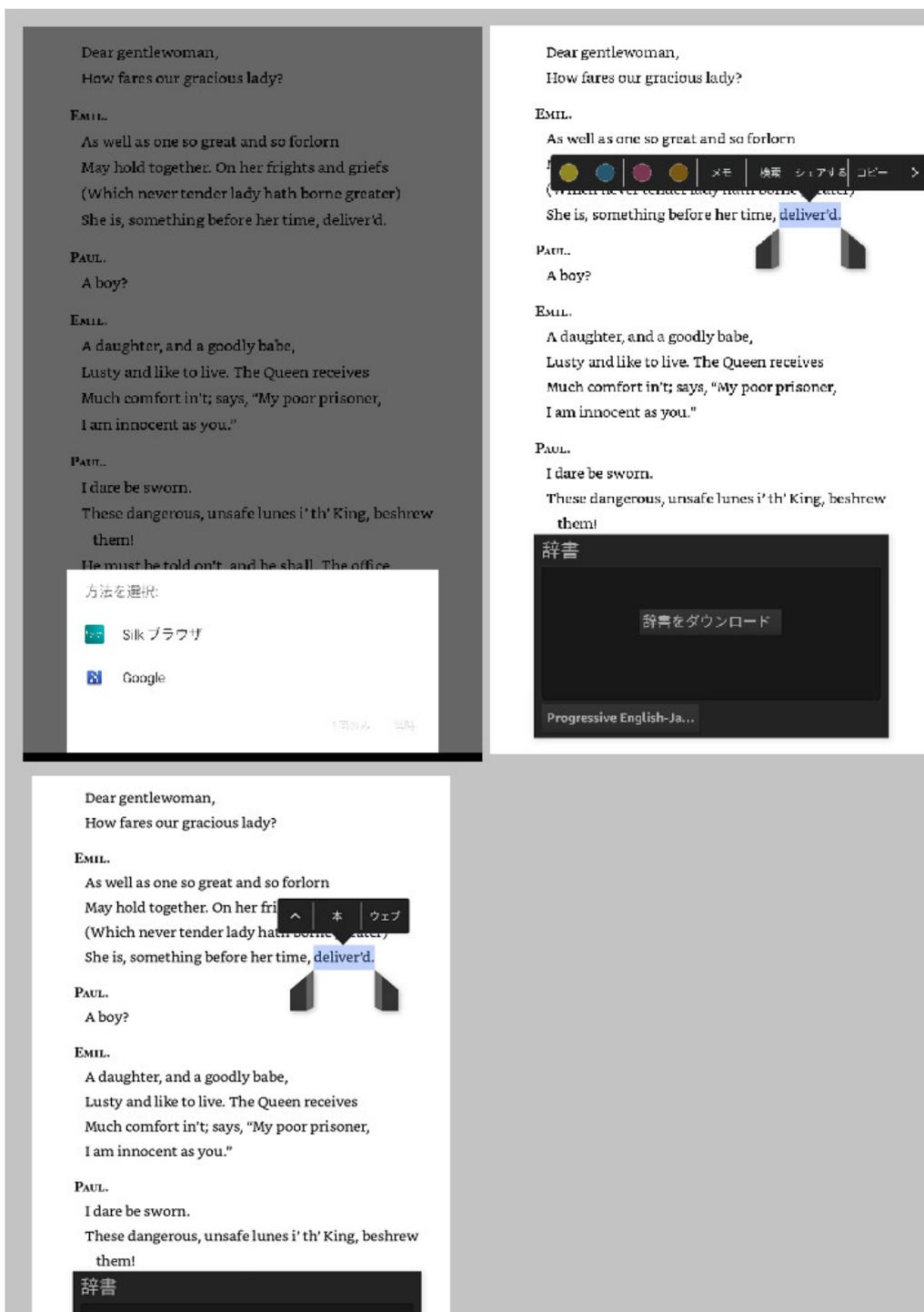
「女子高生が
はっぴいえんどの
コピーバンドをするわけねえだろ」

と如何にも言いそつ

いしかわじゅんの広告 51.jpg

工事中につき その内できるが できない時もた
まにある

芝居をしろ！



5c6GAZOU000.jpg

「高校生の□演劇入門」の「嫌儲の次に現れたのは」をまず、読んでから、読み進めてほしい。

よくわからない、クソレビューをまた付けられた。

ここは、『かつてに改蔵』の読者だから、あえて心を「名取羽美」（忌み言葉）にして、過ぎる反論をしたい。

（もちろん半分ギャグだけど、面白4分の一、残りが本気）

ホームページの黎明期の、はじまりの頃は、まず検証のしようが無い。

ホームページじゃなくてスタパ斎藤の「こいつは俳優を遺伝子組み換えしたくて、遺伝子組み換えしたくて、しょうがねえヤツだ」というマッドサイエンティストのテキストであって、そんな昔のホームページのテキストじゃない。

仮に、本当に、インターネット黎明期のホームページが今でも残っていて、それと同じような読感があっても、それは大量なホームページがあるから、偶然の一致があっただけの保有効果バイアスでしかない。

そして、同じ理由では？ 著作権違反に抵触することを避けていただけで、当時ホームページを作っていた人は知ったかぶりしていたわけではなかった可能性もある。

正直、著作権はどこでひっかかるか、著作権法を学んでも、「絶対にひっかからない」と言い切れない。もう無意識で「ここまでならいいのではないか？」と線引きをして、何かあったらその都度対応すると、そういうスタンス・構えでやっている。

本音を言えば、成文化したくないけど、ひとつの本でネタ二つぐらいしか、引いちゃいけない。引きたくない。（それ以上は情報流出し過ぎていると著作権者・継承者に悪感情を抱かれるかもしれないから）

なんとなく、目分量だけど、ネットに記事を公開するなら「ここまで」というだいたいの分量に留める。歌詞なら、もっと厳しい。ほとんど替え歌で誤魔化している。

ストーリー内容を出すのも、批評でないともまずい。公開されたあらすじをなぞるのも手だが、自作のあらすじで批評の核となるモノに触れているような編集？

著作権が切れても、ちゃんと出典の書誌データを出して、そういうルールをきちんと守り、なんというか、著作権対策的な

そういうのもテクニックとしてある。

何べんも口酸っぱく「学習」のテイを成さないで、引用できないから。

引用もちゃんと理由があって、著作物の利用として、正しく取り扱わないといけない。

読者と著作権者、両側から綱引きをされている。

蜷川さんはもう亡くなっているけど、著作継承者がいるから。

本のどこそこを書いてあると書いて、肝心な所を書いていないのがストレスであったかもしれないけど、著作権上の理由と情報流出になると良くないから、そこまでは書かない。

批評や学習のテイが無いととけない。
報道というプレスリリースでもないし、

著作権者、著作継承者に権利があるから
口酸っぱく言うけど、著作権法の利用の範囲内にしっかり取めないといけない。だけど
こうした枠や箱を作って、ちゃんと批評の枠組みを
知能労働

『映画を早送りする人たち』で語られるように、批評は売れない
せっかく、知能労働しても、クソレビューを書かれる

そして、知ったかぶりしているのではなく、その本を読んでほしいからでは？ それ
は私も同じだから。(ブックガイドを付けなかったのを後悔している)
直接、原著にあたってほしい。

ご老公のイントネーションで御老害、
御老公一行のイントネーションで御老害参上である

矛盾するというか、専門知識に偏りがある。
アプリケーションソフトの kindle には検索機能が備わっている。語句を指でなぞって
マーカーを引いて、小ウィンドウがポップアップする。辞書機能がある。グーグルのサ
イトを開いて検索をいちいちしなくても、アプリが勝手に調べてくれる。

私がわざわざ説明しなくても、すぐ調べられる。
首を傾げる。検索して、調べればいいんじゃないか？

けんさくしろ！
今、西郷四郎の新書を読んでいいるから、
せがた三四郎みたいに、「けんさくしろ～ けんさくしろ 研又九四郎」

検索する単語がわかって、そこからゲートインすれば、自然と演劇の門をくぐってい
ると、
自分から門を閉ざして、入門になっていない

この件をわざわざ説明しなくては、お客様暴君に対応できない。
だけど、黎明期のホームページを知っている？ わけがわからない。
デジタル知識が歪で、首を傾げる。変な偏りがある。
なぜ、偏りがあるのか？ 生成AIだからじゃないか？ アマゾンさんのフィルター
にひっかからない事を書けど、命令して出力されたそれをそのままペーストしたんじ
ゃないか？

失敗はあるのは、認める。

後で修正するモダライゼーションはモダライゼーションが正解。近代演劇の俳優訓練は、身分階級制度の旧来の人を「近代化」する。
それが私の近代演劇観であるが、

レストランで言えば、盗んだ食材で料理出して安くておいしいからいいんだ。これからも盗んだ食材を出してくれ、そういう客を「お断り」できないのが、Amazonの悪いところ。(ねほぼほのチーターの回で)

危険を冒して、漫画村やファスト映画みたいな事をこちらにさせて、それでフリーライダーさせてくれて、欲望のまんま書いてないけど、本音はスタニスラフスキー先生の『俳優修業』に書いてある事をタダノリさせてくれ、

あわよくば、そう思っているんじゃない？

あるいは、いしかわじゅん先生と同じく、いじめがしたい

先にそちらが目的で、内容やクォリティーはどうでもいい

まえがきにあたる所で、想定読者の高校生がついていけない内容もあるけど、わからなかったら検索してと、書いてある。高校生向けじゃないのは、百も承知。だから“高校生の□”というボックスシステムにあたる四角を入れて、変化をつけている。それも演劇部に所属していない人も、読者として排除しないように、配慮したつもりだけど。

高校演劇コンクールに出る人だけが演劇の事を知ればいいわけじゃないから、その他の若者たちにも向けて、資料も無い、お金もない皆が直面するであろう「無ければ作るしかない」という、裏テーマをここでわざわざ書かせるなよ。

大塚英志の『大学論』にある「作り方を作る」みたいな話で、
もしかしたら、『葬送のフリーレン』の製作者側は大塚門下なんじゃないか

謎の「まえがき」にあたるモノをちゃんと読まない中高年人物が読んでいる。よくいるみたい。

私はぎゅーどらさんに注文がある。

答えは「演劇をしろ」と、「芝居をしろ」では佐山サトルのようにウソをつけという事になるから、「演劇をしろ」が正しいタイトル。

今すぐ、芸能事務所に入るか、劇団に入団するか、演出家に弟子入りするべき。

あそこまで、書くのだから、本気の「演劇入門」を求めているに決まっている。ただ読んで終わりの演劇入門を求めていたわけのほづがない。

こちらは、新書で出された三冊の演劇入門があるから、ストレートじゃない変化球を投げれる。本道ではないひねったモノだから、タイトルに「□」の入った、○○入門であって、すでに出されたストレートの演劇入門があるから、安心して変化球を投げてい

る。(未読の小山内薫の『演劇概論』もある)

前段落の中に二重の意味になるセンテンスがあるのは、本当にわからない人がいて、演劇入門と名のつく本は、私個人が知っているのだけで、四つ(未読の福田恒存)もある。それだけストレートが続いているのだから、後発のこちらとしては、変化を付けたフックのあるモノを出さざるをえない。

『イロモノの野望』であった、インディー団体のプロレスを観て、「新日じゃない」「全日やノアじゃない」と言われても、作者の男色ディーノと同じ、別の価値観の提示(たとえば「作り方を作る」)だから、

それは現代科学に演劇の演出方法や俳優訓練、舞台・小道具の工法を合わせよう、というコンセプトだから、その変化の軌道をなぞれば、ちゃんと演劇の入門になっている。

「それって俳優訓練するより、メッセンジャーRNAで俳優に必要なタンパク質を作った方が早いんじゃない？」

もう、みんなファイザーやモデルナのワクチンを打っちゃっているので、人為的にウィルスを取り込む、つまり水平進化でなんらかの遺伝子を取り込むことになる。

ファスト読書じゃ身に付かない。

鴻上さんのワークショップに参加すべきだ。

一日一万円分、二日間で二万円のワークショップで
身に付けないと
それがお望みなら

安いサブスクや百円の本でカンタンには、手に入らないのでは？

NHK教育みたいに世帯数の巨大な母数でやれば、
サブスクの量と質が充実していないのは、Amazonさんに文句を言え

ブックと戯曲のガイド

ぬへのメソッドの階梯（仮）に付けるか、冒頭につけるか、
予定は未定の
ブックガイド の テキスト

※演劇と□のブックガイド

なんでも入ってしまう、□のボックスシステムだから
俳優トレーニングだったり、演劇に関わるマンガだったり、その他が入る。

『俳優修行』 スタニスラフスキー

この前編・後編、一部と二部があれば、本書はいらない。

しかし、新しいシステムかメソッドを必要、開発する気があるなら、いろいろな問題
提起、課題提供があり、結果的に「解答」が示されている事もある。

扇田昭彦の著作

新書『日本の現代演劇』が20世紀内の国内演劇事情をだいたい網羅している。

唐十郎さんの赤テントに密着取材した

鴻上尚史の著作

演劇入門（集英社）

俳優になりたいあなたへ（ちくまプリマーブックス）

名セリフ！（文芸春秋）

『俳優になりたいあなたへ』で新幹線に乗り合わせたというのは、平田オリザの確か
『演劇入門』か『演技と演出』に書かれている。

どうして国内外の演技（芝居と言っていい）

海外の演劇は近代化

平田オリザの著作

演劇入門と演技と演出（共に講談社現代新書）

演劇入門 千田是也

これを、どうやら勝新太郎はアンチョコにしている。
いわゆる「真似る」ことで、やがて「学ぶ」ことがある。

偶然完全 勝新太郎 田崎健太

これはなんらかの「事故」が起きた時、どうふるまうべきか、カツシンは正しかったのか、その事の重大な課題が書かれている。

他にも、テレビドラマの原作の権利を持っており、お兄さんと一緒に撮影するはずが、テレビドラマ化したい方が横槍を入れてしまい、その件でお兄さんとの距離が離れてしまう。

春日太一『天才 勝新太郎』ともに読んで、不世出俳優の足跡と芝居を学んでほしい。

演出術 蜷川幸雄

ここに、野田さんの「名セリフ！」があり、
そこから「キメラのメソッド」を抽出する。

舞台上の青春

高校演劇についてのノンフィクション。

もし、これを読まれる高校演劇を現役でしている部店は、表方裏方どちらも絶対に必読。

高校演劇コンクールに出場するなら、スケジュールがわかる。

俗にいう甲子園、全国高校野球選手権大会の夏に始まって、夏に終わるとというのが、高校演劇コンクールには、

風姿花伝 世阿弥

まず現代訳を読む事を薦める。

現在でも使われる「花がある」というフレーズの語源で、「初心忘れるべからず」は『風姿花伝』ではなく『花鏡』にある言葉など、解説書に書かれる注意

崇徳院に送った和歌が引かれている事、複式夢幻能や秦河勝「はたのかわかつ」の用語・固有名詞等を事前に知ってから読んだ方がいいが、とりあえず読んだ後、後から解説書を読んで、理解を深めればいい。

演劇の聖数は、三つではなく 66 である。例のダイバダッタが一万人の……これ以上は自分でちゃんと調べる。

日本でとっても有名な人ですが、ちょっと気難しい

□中島らもさんの著作

劇団リリパットアーミー（直訳は小人族の軍団）を率いた座長、でもあるのが作家・中島らもさんである。

ある言葉を残しており、優れた評論家、というより「評論家」になってしまう。

マイナーな著作に書いてあることなので、あまり自分で調べれば、

□イロモノの野望 男色ディーノ

演劇をしたら、劇評で酷い事を書かれるが、

『イロモノの野望』に書かれている事で、だいたい対処できる。

マットの上か、板の上かの違いになる。

だから、映像と舞台の演劇のみだけでなく、いろいろな事に役に立つ。

□七人のシェイクスピア ハロルド作石

とりあえず、シェイクスピアの情報を知りたいなら、このマンガを読み、「史実」との違いを「学習」する事。

□成井豊のワークショップ

トレーニング法の書籍その一

発生訓練として「ういろう売り」

□ボクシング世界元・チャンピオン飯田覚士のおうちで簡単ビジョントレーニング
トレーニング法の書籍その二

脳のミラーニューロンを鍛える方法としてビジョントレーニング、見るを鍛える事が
脳を鍛えると、判断している。

眼球をよく動かす事が、脳神経を動かす

鏡とビジョントレーニングを組み合わせてミラーエクササイズをする。

ミラーのシステムの基礎トレーニング

□演劇ワークショップのレッスン

トレーニング法の書籍その三

鴻上さんの他の書籍とは分けて、俳優のトレーニング主体であり、
実際に同じワークショップをしているから、

□ありえない未来の思い出たち 第三巻

ゲーム企画「シルエットアクター」の内容をマンガにしたもの。

とくに裏方の人に読んでほしい。

途中で著作権問題が発生し、

ブレヒトとクルト・ヴァイルの権利問題が復活してしまい、

再び失効するまで、うかつな事はできない。

Amazon に

※創作予定の戯曲と□

戯曲と小説

検索にかけてもわからないのは、私の創作する戯曲であろう。

□は小説、その他である。

シルエットアクター

「三文オペラ」を翻案して「百円オペレッタ」をかけることになった、イワマツア
ンサンブルには裏方が足りない。

そこに影が実体化したシルエットがやってくる。

バックステージもののゲームソフトである。

やがて「影の王子」を演じてシルエットは消えてしまう。

ななつとみつとひとつ

ルールラーニングストーリー

ルールをエピソード記憶させる事で、

カードゲーム

『賭博黙示録カイジ』を読んで、この程度カードゲームを思いつけないのは、ちょっとどころではなく、だいぶ足りない。

教会は断食で建つる

信仰の話

ガウディを説得する神父は、少年を買春している。

その点をオープニングでわかってから、ガウディに断食をやめるように説得するのである。

ガウディが「炎の人」のゴッホと同じ、

最後は史実通り、断食を止める。ト書きには、不敵に笑う神父で荘厳な曲がかかって終幕する。（私の場合おそらくホモフォビアの可能性の高いすぎやまこういちの「大神殿」をかける）

宗教劇である自分の作家性を後天的付ける事が出来る

ピグマリオン改題

改題とは「解説」で、冒頭と最後に創作されたエピソードをマイ・フェア・レディの著作権が切れていた時期であれば、かけられる。

アドルフ フロイトVSアドラー

ウィーンの世界分析の

心理学

学者たちを女性俳優が演じる、

「リア王」をリスペクトしつつ

誰がコーディーリアであるか、

いわゆるナチスドイツもので、

大星由良助と大石内蔵助をどちらにするか、

アルフレッドをアドルフと覚え違い

復員者の福音

「サザ○さん」的家族の類型で、別役実の不条理劇に作り変える。

平穏な家庭劇がズレると不条理

長谷川町子の家族や母のキリスト教徒としてのふるまい、そして戦後社会の欺瞞に満ち

た平和

ジャンルとして喜劇と悲劇があり、歴史劇と浪漫劇
これに恋愛が

シバタ・アポン・アガノ 1956

題名を翻訳すると「阿賀野川のほとりの新発田」という意味。
ハーフタイムシアター
ある野球を愛する青年が、不正に手を染めてしまう物語である。
手紙を交わしていた友人が泊りに来て、その件を話す。

ストラトフォード・アポン・エイボン 1596

ハムネットが死んだ年、何があったのか、
「シェイクスピアロマン」の副産物で
ハーフタイムシアター

キャベシ畑に咲いた花

大泉サロンに集ったマンガ家たちのフィクション化、戯曲化した物語で
「○山」さんが狂人である。
中心は萩尾望○をモデルにした
話は遺伝子組み換えされていないか、キャベツがキャベシになっていないか、

解題今昔芝居舞台寄並

わかるだいまむかししばいのまいたいよせならべ
と、読める人は
二時間ぐらいで、

高校演劇を舞台とした小説（まだ題名を決めていない）

宇治動画の...

二部作というか、一続きの作品で共通する人物がいる。

「アニメ国家百年の計」で集められたアニメーター志望の若者たちの群像劇の中に、演出志望の人物が前日譚的に高校演劇をやっていた

宇治動画ことアニメ制作会社のモデルは、もちろん京都アニメーションである。

業界では京都さんで有名な、愛すべきアニメ制作会社である。

オレならこう撮る 『「坊ちゃん」の時代』ならコウ撮る？

関川夏央さんの原作で谷口ジローさんがマンガを描いた『「坊ちゃん」の時代』を映画化か、ドラマシリーズにしたい。テレビか動画配信である。

その前に、舞台演劇になっていなかったか？

わかぎえふが『百鬼夜行抄』を舞台化しているのは、あまり知られていないように、すでに舞台化していると、ちょっと避けなくちゃならない表現があると思う。

キャストिंगがお笑い芸人になってしまうのは、笑いの考えと当時の近代文学的美学が一致している部分があって、それでお笑い芸人を起用、というのも一部あるかもしれないが、基本、「銜い」があってやっている。

『火花』以後、芸人さんと近代文学者はどこか似ていると、わかった人はいるけれど、それは国民の過半数を越えていないと思われる。芸人哲学なんて一般性は無い

お笑い芸人を起用しないと、江夏になる。それは江夏の二十一セリフだ。

親に、自分の映画を観てもらいたくないから、親が嫌いな俳優に役を宛がう。

綾瀬はるかと榎木孝明である。

たまねぎ頭の永沢くんを演じた川島省吾を漱石で、『コラライン』で黒猫を演じて、『吾猫』と縁があり、一人二役で啄木もやらせたい。劇団ひトりは朝ドラでも書生を演じていたし、マンガ内の漱石は川島さんとちょっと似ている表情を浮かべるシーンもある。

西野くんのお尻の穴を触った指で、ポテトチップスをほおぼったから、ジャムの瓶の中に指を入れて、ジャムをこすくって舐める、原作にないシーンを挿入。そのためだけに西野君を呼ぶ。メイキングビデオで種明かし。第二関節まで直腸に入れていた、と。(前立腺を刺激できる)

その後に修繕寺の大患？

ほとんどの場面を取り終えてから、剣戟・銃撃アクションシーンを撮るのがノーマルな撮影の段取りだけど、クランクアップに撮るシーンだろう。『マルサの女』で言えば、国税局の映りに宮本信子が髪型を直すシーン。

本当に子供が女の子だけで四人もいるから、みんな甘いモノに飢えていて、一晩でジャムの瓶を開けたと、どこかで読んだか教養番組で見た気がする。

それでお尻の穴を触った指でジャムなめて、トム・クルーズがパラシュートだけ背負って崖に飛び降りるのと同じ。

自分だけジャムを一口もなめてもらえなかったから鏡子夫人はむくられて実家に帰ってしまう、映画独自の展開

伊藤左千代をザコシ、ハリウッドザコシショウで、「はっ？」とセカチュウの元ネタの『野菊の墓』の作者とは思えない見た目を原作マンガでも触れているし、WBCのテレビコマーシャルで、国民全員知っているだろうし、配役としてこれ以上ない。

漱石の描いた達磨大師の方が似合っているかもしれない。

『ギャルと恐竜』と同じ事、ある人物から『野菊の墓』の作者にとっても見えないと、言われて「はっ？」とリアクションして画面分割する。

映画ではそのシーンは無いけど、PR 動画ではある。

そっくりさんだと、俳優経験が無い人なんだけど、原田曜平でカツラをすれば、左千代そっくりである。見た事が無い人は、「何を言っているのだろう」と思うけど。

平塚らいてうとかも、女芸人さんで何人もの男性とビジネスクスする、暗黒マドンナである。女装芸人でもいいけれど、インプレッションを確保できない。だから、舞台劇でオールメールで全員男子が演じていたとか、そういうのがあると、わざわざ映画でも同じ事をしなくちゃならないか？ と、観客・視聴者が思うから避けなくちゃならない。

島崎藤村を春日太一さんがやると、

チョコプラのイッコーさんの方がダメなら、岡崎体育が森.....人物名をネタバレになるから、森田くんが

森鷗外をマキタスポーツさんとか、そのあたりの

生きてさえいれば大杉漣さんが鷗外だけど、続編を作るとなると問題になる。漣さんが出演だと、楽屋のお菓子やジュースとかの置くところに“さざなみ”を置かなくちゃいけない。よくわからなかったら、ドラッグストアに行って「さざなみ下さい」と言えば、店員さんが持ってきてくれる。

そんなジョークはともかく、エリスのネタ、「秋の舞姫」編では主人公格になるから。

実際に乗船記録から、『舞姫』のモデルとなったドイツ人女性が日本に訪れて、林太郎と会っていたらしい。

啄木と金田一が出ている。坊ちゃんの時代シリーズを順次、映像化していくと、啄木を中心とした「かの蒼空に」も映像にしなくちゃならないわけだろ？ サンキュータツオさんの金田一京助では、お金を払うスポンサーが難色を示す。「誰だこいつ？」とタツオレイシストに排斥されてしまう。「挨拶が無えぞ」と

何もしてないせいで「菓子折持ってこい」と

まともな配役なら、島田久作さんになると思われる。撮影時には、老いて演じられない。もし鷗外を演じたら、旧日本軍の軍服を着るから、『帝都物語』の加藤かよ。

きたろうさんだと、格が高いから、とても山縣有朋をオファーできない。

メガネを外した大竹まことが適任。

仲三郎くんは、その時、その時の人気俳優でいい。

二十世紀内の松竹配給なら『男はつらいよ』、いわゆる寅さんシリーズなら、渥美清が漱石、倍賞さんが鏡子夫人で、歴代マドンナの誰かが平塚らいてう。佐藤蛾次郎が伊

集院。

仲三郎が前田吟？ 吉岡秀隆で

タコ社長が桂太郎、山縣有朋は御前様。かつては笠智衆で、今だと笹野さん。

山縣有朋をビートたけしさんだと、『攻殻機動隊』と同じになる。メイクと一部ウィッグをしたリリー・フランキーさんになると思われる。

空気階段のもぐらが徳富蘆花で、

『木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか』でも、名をあげられる講道館四天王の一人西郷四郎が誰がいいか？ 悩む。

実力だけならガリットチュウ（福島くん）の柔術チャンピオンで岡田准一は優勝できなかったから、キャスティングできず、実は他意がある。その理由をわたくしの口から言えないが、ジャニー喜多川の問題である。

若かったらトミーズ雅で、大島渚が『御法度』のキャスティングでNHKアナ（石澤じゃない方のメガネ）の「演技力を求めて…」

「いらぬ」「キャラクターだ」と強く反論。

今なら「映え」「絵力がある」人物を

ラフカディオ・ハーンがテリー伊藤で隻眼の演技である。

だけど、唄が長くなるから、小泉八雲のエピソード、映画ではカットするかも。

安重根が国井咲也さん。

国井さんを知っている人は笑う。

咲也さまがパンチパーマみたいな鬘を被って、本人銃器マニアなのに拳銃の知識が浅い人物を演じる。ミスキャストである。「それ悪い拳銃だから、いい拳銃にしてください」と言う方だから。

国井さんのことを知らない人には『快感フレーズ』の話題を振れば、いいのかな？

「そんな事したの？」と絶対にあきれられる。堀紫郎の方を演じるのが、正しい。

海外、とくに韓国国内での興行を考えたら、韓流スターでしょ？ 間違いなく。

それでも国井さん。

プロレスラーを起用なら長与千種、鏡子夫人かマドンナ。（『鬼平犯科帳』で小朝師匠とむつまじ合っているのから離れられない）

伊集院影青召（例により入力しても字が出ません）が男色ディーノで、駄目だったらアルピー平子が、代役。

メイキングでカツラをとって、道衣を脱いで、パンツもキャストオフして、十時固め。DDT事件簿。ディーノの股間から腕が生えているような、AI生成画像みたいなスチールが出回る。

チキンウィング・フェイスロックに変更もありえる。

ハクちゃんをモブシーンの犬役。

合田道人さんに、何か役を作る、ムリヤリ作る。歌会で短歌を詠む人とか。

すると、江夏を出したい。江夏の二十一句である。

六代目が堀紫郎ならいいけど、プチ鹿島さんが最上徳内みたいな、適切な役が無い。な

んとか正岡子規。

作中では、もう亡くなっている。

実写だと、問題が多々あると思われる明治後期を舞台にしている。

藤森輝信の建築探偵連載当時なら、まだ残っていた西洋館、近代建築でロケができたと思われる。ニコライ堂が無い。建築探偵で取り上げてない。政宗ホールも無かったけど、ピアホールで代用とか、できる余地がある。

連載でとりあげなかったニコライ堂は現存するが、すると背後にあるビルをCGIで消さないといけない。さらに『イノセンス』みたいに白鳩を飛ばさないといけない。

江戸東京たてもの園で移築されているなら、ロケ撮影可能だけど、無いとしたら大変だ。

エスタブリッシュメントショットの外観だけCGだと観客が満足しない。予算が少ないに決まっているのに「もっとカネかけろよ」と言われる。

『漫画誕生』批判じゃないけど、ちょっとそれが少なかった気がする。同潤会アパートとか、移築される前の帝国ホテルとかあったアニメ映画『鉄人28号 白昼の残月』は良かったけど、『漫画誕生』の方はロケできる西洋建築が無かったのだろう。

ドラマ「らんまん」は明治の代表的な建築物の前で撮影をしなくていい人物が牧野博士で、野外ロケはほとんど植物採集シーンしか、しなくていい人物だから選ばれたんだろうな、と。

もうひとつ『龍馬伝』は岩崎邸が残っていたから、ロケ撮影したけど、もちろん史実ではない。岩崎弥太郎の頃に出来たのではなく、次代の弟の頃に竣工し、ドラマ内での成功者としての弥太郎が暮らしているのは、いい嘘である。

これは面白い嘘だからOKだと。今、時代モノで時代考証的に文句が言われる事があるのは、面白い嘘を付けていないからではないか？ 三国志演義の目に矢が刺さったから、思わず食べちゃったエピソードは、史実は矢が目に刺さった、までだろう。用語のキャラ立てのために、

米印 これは久弥で、昔もちょっと同じようなミスしていた 製品版では直っているんじゃないか

ポジティブ・カウンター・インテリコクチ（告知）



KIARA.jpg



告知

告知 14.jpg



靴のかまた この間行ったら潰れていた
潰れてほしい 商店は他にあるのに

告知 17.jpg

手書きを消しゴムで消して
直したのを忘れていたのでは？

calvetxの6歳児
直しつゝねん



告知 13.jpg



告知 XX.jpg

僕たちは本気で怒りしきりの人たちは

Fiveleafsclover6

著 ゴトチヒ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
